



平成 30 年度 建設現場見学会感想文集 (徳島科学技術高校)

一般社団法人徳島県建設業協会

平成 30 年度高校生の建設現場見学会感想文

◇徳島科学技術高校 環境土木コース 2 年生◇

1. 栗飯原 輝

私たちは、4つの現場へ行きました。午前には2つ、午後には2つの現場に向かいました。この現場見学で色々なことを学びました。

まず、午前では榎瀬川水門新設工事の現場と(仮称)藍住町文化ホール等複合公共施設建設工事の現場の2つの見学に行きました。最初に、榎瀬川水門新設工事の現場に行きました。ここでは、南海トラフ地震などの大規模地震に備えるための改築工事を行っていました。

この工事の説明では、改築理由や工事の工程などを説明してもらいました。その中で、驚いたことがありました。それは、この工事における被害の軽減効果でした。被災人口や想定被害軽減額など聞いてとても驚きました。ほかには、基礎工や液状化防止対策などで行っていたサンドコンパクションパイル工法など習っているけどあまり理解できていなかった部分などが少し理解することができました。次に、(仮称)藍住町文化ホール等複合公共施設建設工事の現場に向かいました。今度は建物の中ということでなかで簡単に作業のことなど聞き、その後、中の様子を見ながらの説明でした。中での説明で建物をどう建てていくのかを聞いたりして特にすごいと感じたのが足場でした。僕は今まで、外にある足場しか見たことなかったので中にある足場を見て貴重なものを見させてもらっていると感じました。ホールの中の天井まで続いている足場を見て本当にすごいと感じました。こんな足場どれだけの時間をかけたのだろうと興味もわいてきました。この2つが午前で見た現場でした。

午前の現場は、津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事(1)の現場と沖洲高架橋工事の現場に向かいました。まず、津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事(1)の現場に向かいました。ここでの現場では、橋脚に上がって結束作業をしました。僕は2班だったので最初は下で練習してから上に行きました。この結束作業は思ったよりも難しい作業でした。ほかの人たちはすぐに上手にできていたけれど僕はあまり上手にできていなかったのが少しショックでしたが上に行って作業してみたら上手にできたので良かったです。この現場では、作業を実際にやるととても楽しく学びました。最後の現場は、沖洲高架橋工事の現場に向かいました。ここでは、近くまで行って作業を見ることができました。中掘杭工法の説明などいろいろなことが聞けてとても勉強になりました。

この4つの現場の見学を終えてとても勉強になりました。この現場見学会で実際に現場に行って、現場で実際に作業している人に話を聞いたりして色々なことを知ることができました。なかなかでき経験ができて本当に良かったです。この経験を生かして自分の進路を決めていきたいです。この度はお忙しいところありがとうございました。

2. 足立優真

私達は、11月5日に朝昼とかけて4箇所の建設現場に現場見学会として参加させて頂きました。

まず、1つ目の現場先は徳島市川内町鈴江南地先にある榎瀬川水門新設工事に参加させて頂きました。私は水門をしっかりと見た事がなかったので、水門にとっても興味が湧きました。この工事では、いつか起こるだろう南海トラフ地震の対策をされていました。津波の浸水面積、浸水戸数、被災人口、想定被害軽減額など、精密な計算をしての対策がすごいと思いました。特に、私が注目したのが、パワーアシストスーツです。私は実際には、着ていないのですが、私のクラスの議長が体験しているのを見てとても興奮しました。2つ目の現場先は、藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事に参加させて頂きました。最初に私が驚いのは、全体の大きさもそうですが、内部の様々な仕組みです。内部を見学して、会

場が大きいのに、内部はとても計算されていて大変そうだと思います。足場を作るだけでも、数か月かかるのが驚きました。完成が楽しみです。

次は、昼食をはさんで、3つ目の現場先へ行きました。3つ目は、津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事に参加させて頂きました。こちらの工事では、話を聞かしてもらえただけでなく、鉄筋の結束作業の体験をさせて頂きました。鉄筋の結束作業で、作業員の方を見ると、簡単そうに見えたのですが、実際に体験してみると、思い通りにできなく、全く出来ませんでした。私は1つ作るだけでも、大変なのに、作業員の方々は、数万帯もの結束を作っているらしいので本当にすごいと思いました。橋脚を上る時にも、安全帯を付けるので安全性もあり、安心して作業が出来そうです。私が一番驚いのは、2つの橋脚の鉄筋の太さです。橋脚は2つあって、片方は少し大きいのですが、大きい方の鉄筋の太さが小さいのを驚きました。なぜなら橋脚は、大きいのに鉄筋が小さければ、重さなどに耐えられず、壊れてしまうのではないかと思ったからです。しかし、その様なことがないように、太さや長さ、高さなどを精密に計算しているのを知り、ますます興味が湧きました。最後に4つ目の現場先、沖洲高架橋下部工事に参加させて頂きました。橋脚の基礎工などを見させて頂きました改めて見ると本当に大きいと思いました。他にも、VR映像で橋の完成後の未来を見させて頂きました。VRで見ると、大きくて、出来上がるのが楽しみでわくわくしました。

この見学会を通して思った事や感じた事、建設業は辛いやきついだけではなく、楽しく、やりがいもあり、作業員の方々も優しく、本当に働きやすい環境だなと思いました。

私は、将来建設業で働きたいと思っているので、とても勉強になりましたし、建設業への興味も湧き、もっとたくさん知りたいと思いました。

3.笠原淳弘

私たちは平成30年11月5日に職場見学会に参加させて頂きました。今日の見学会では普段は見ることでできないものや体験できないことを、実際に見たり体験させて頂きました。

まず1カ所目に、榎瀬川水門新設工事を見学しました。この事業の目的は、南海トラフ地震などの大規模地震による津波の被害を軽減するものだそうです。資料の図を見てみると対策前と対策後を比較してみると一目で違うことが分かるほど浸水面積が減っていることがわかります。1つの場所の工事をするだけで大きな災害が起こった時にかなりの被害を減らすことができることを1カ所目の現場でわかりました。

2カ所目に、藍住町総合文化ホールの建設現場を見学しました。この建設現場は複合施設なので様々な用途で使用されるかなり長い時間使用される施設なので、あるのとないのでは大きな違いがあると思います。足場を作るだけで2、3ヵ月ぐらいかかることを知りました。自分の家の近くにも同じような複合施設があるので、こんなに時間や人手がかかっているとは思いませんでした。いつも見ていたホールの出来上がる姿を見られて、とても勉強になりました。

3カ所目に、津田海岸橋梁下部工事を見学しました。鉄筋を結束戦で固定する作業を体験しました。まず、建物の3階まで上がって作業を行いました。思ったより簡単でした。だけど思ったより高い場所での作業だったので、身近に命の危険があることを改めて感じました。この隣の現場では、油圧式ハンマという工法を使って作業を行っていました。授業中に映像で見たことが実際に行われていて、かなり危険だなと思いました。今まで何気なく見てきた機械を考えながら見ることで、今までと違った見方ができて感じるものがたくさんありました。

4カ所目に、沖洲高架橋橋工事を見学しました。高速道路で四国を8の字で結ぶ計画だということを知りました。まだ完成には時間がかかりそうですが、完成したらとても便利だなと思いました。現場で

まず初めに、VR の様なものでイメージ図を見ました。説明を聞くだけでは少し分かりにくかったけど、完成のイメージ図を見ることでとても分かりやすかったです。次に基礎工を見学しました。施工の授業で習った切りばり・腹おこし・火打ちばりを間近で見ることができたので、とても貴重ななと思いました。

この1日で見学したことはどれも初めての体験で、とても勉強になりました。このことを活かして、将来仕事に自分が就いたときには頑張っていきたいと思います。

4.川野秀明

私たちは最初に榎瀬川水門新設工事の現場見学をしました。なぜ新設するのかというと旧の榎瀬川樋門の老朽化と南海トラフ地震の津波の浸水被害対策のためだとわかりました。この工事による被害軽減効果は浸水戸数約 380 戸減、想定被害軽減額 160 億円というデータから多大な効果が得られることがわかります。あとパワーアシストスーツという建設作業での体の特に腰の負担軽減を目的とした装置を見ました。労働者の高齢化が進む建設業界では今後必要となるものだと学びました。この現場では南海トラフ地震の対策の重要性と必要性を学ぶことができました。

2 か所目は藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事の現場見学をしました。文化芸術・防災・合理化が調和した町づくりを理念のもと文化ホールや避難所などが融合した複合施設を建設していることがわかりました。このような施設ができることにより、文化ホールではライブやコンサートの開催が可能になり、地域の活性化につながると思いました。避難所では行政機関が同じ敷地内あるので災害時に連携が取りやすいと聞きました。この建設現場では足場が建築物にびっしりあったのが印象的で一番高いところでは 35 メートルまで足場があるとわかりました。この現場では R C 主体の構造がどのようなのか学ぶことができました。

3 か所目は、H29 徳土津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事を見学しました。この施設の建設目的は四国横断自動車道の供用に併せ津田インター線のランプ橋の建設のため施工しています。そのランプ橋の橋脚となる PA1 橋脚と PA2 橋脚が建設中でした。杭工事では杭の傾きを確かめるトランシットという方法と精度を高めるために遠隔 TV 監視システムを採用していることもわかり、杭工事で一番重要となる工程は溶接工事とその精度を確かめるために浸透探傷試験と超音波探傷試験が大切であることがわかりました。またこの現場では施工中の PA1 橋脚で鉄筋のぐらつきをなくすために結束線で鉄筋を固定する作業を実際に体験することができました。最初は練習をして失敗が多かったので本番で正しく固定できるのか不安でした。本番になり安全ベルトを装着して約 10 メートル以上はある橋脚の不安定な足場の階段恐る恐る登り、コンクリートからむき出しになった分厚い鉄筋を結束線で固定しました。とてもうまくできたので良かったです。こういった実際に使われる建造物の建設作業に関わることができてとても感動しました。

4 か所目は沖洲高架下部工事を見学しました。この施設は 3 か所目と同様に四国横断自動車道の一部を施工しています。橋脚に使われる鉄筋には塩害対策としてエポキシ樹脂塗装鉄筋が使われていました。またこの現場では先端支持層の N 値が 30 以上なので 70 メートル超の杭の打ち込みが必要だということに驚きました。

今回の現場見学会で建設の色々な施工方法や知らなかった知識を得ることができ、建設に携わることの楽しさを学ぶことができました。現場見学会で学んだことを今後に生かせるように頑張ります。建設業協会の皆様、ありがとうございました。

5.行譜大雅

午前には2つの現場を見学しました。1つめは、川内町の平成28-30年度榎瀬川水門新設工事を見学しました。水門新設工事を初めて見ました工事の規模の大きさに驚きました。

サンドコンパクションパイル工法を用いて地盤改良を行っていました。サンドコンパクションパイル工法は、学校の授業で習っていたのでとても分かりやすかったです。工事の平面図を見ました。とても複雑で、普段学校で書いている製図が単純で簡単に思えました。配られた資料も写真付きでとても分かりやすかったです。パワーアシストスーツも体験しました。荷役作業時にかかる腰の負担を軽減することができるので、女性や力の弱い方も作業しやすくなって素晴らしいなと思いました。2つめの現場は、板野郡藍住町の文化ホール等複合公共施設建築工事を見学しました。施設の中に入ってみると、想像していたよりも広くて驚きました。構造はRC主体で耐震性に優れているのだなと思いました。席数も1階416席、2階が217席でたくさんの人数が座れて良いなと思いました。ホールも大きくて素晴らしい集会場になるのではないかと思います。配られた資料を見ると工事が進んでいく様子が写真を使って説明されていてとても分かりやすかったです。

午後からは2つの現場を見学しました。1つめの現場は、津田海岸町のH29徳土津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事を見学しました。この現場では実際に生徒たちが鉄筋をハッカーという道具を用いて結束線で縛る結束作業を行いました。安全帯をつけて足場を上がりました。あんなに高い足場を上がったのは初めてだったのでとても緊張しました。上まで上がって実際に結束作業を行いました。最初はやり方がよく分からなかったり、ハッカーを回しすぎて結束線が切れてしまったりして上手にできませんでした。しかし、何回かやっていくうちに出来るようになったので嬉しかったです。結束線で鉄筋を結束するという簡単な作業でしたが、直接工事に携わる貴重な体験ができてよかったです。

午後からの2つめの現場は、徳島市東沖洲の平成29-31年度沖洲高架橋下部工事を見学しました。私たちは、P19とP1の工事を見学しました。現場にはバックホーやクレーンなどの大型の建設機械が稼働していて感動しました。土留め工事の様子も見学しました。学校の授業で習った鋼矢板や切ばりなどがどのように使われているのか実際に見ることができてとても勉強になりました。橋脚がどのようにして作られているかを知り、その大変さに驚きました。私の姉もこの沖洲の現場で働いており、このような建設現場で女性が活躍できるのは素晴らしいことだと思いました。その姉の姿を見て私もこのような建設現場で働きたいという気持ちがより一層高まりました。

合計で4つの現場を見学しました。今回の現場見学で、建設工事はたくさんの人や会社の人協力して進めていくことの大切さが良く分かりました。今回の現場見学で学んだことを生かして、今後の進路を決めていきたいと思います。この度は、このような素晴らしい現場見学会を開いていただきありがとうございました。

6.河野涼太

全部で4ヶ所の現場を見学させていただき、午前と午後で2ヶ所ずつ現場を見学させていただきました。午前の1ヶ所目は、榎瀬川水門新設工事を見学させていただきました。最初に、工事概要書を見せて頂き、こんなに綺麗にまとめられているものなのだと驚きました。概要書の中に平面図もあり、とても複雑で、普段自分たちが授業で書いている平面図との違いにも驚きました。フローチャートも見やすく、全体的に色分けもされていて見やすかったです。アシストスーツの存在も知らなかったもので、自分が想像していたより様々な機械を使っていることを知りました。水門がしっかり作られていることで、被害人口が約850人減り、想定被害総額が160億円も減ることを知って、水門の重要性を知ることができました。

2ヶ所目は、藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事を見学させていただきました。まず気になったのが、鉄骨の足場の高さで多さでした。約2、3ヶ月かけて組み立ててまた2、3ヶ月かけて解体していくと説明されて、やはり大きい建物を建築するときにはそれ相応の時間が必要なのだと感じました。コンクリートや鉄骨ばかりで冬は寒いと聞いて、工事の大変さを知りました。文化ホールはまだ完成イメージがわきませんでした。現場で見た感じより予定の収容人数が多く、完成してから見に行ってみたくてと思いました。週の労働日数も聞くことができるとてもいい機会でした。

午後の2ヶ所のうちの1ヶ所目は、津田インター線 徳・津田海岸橋梁下部工事を見学させていただきました。安全帯を装着して鉄骨の組み立て足場を登って、鉄骨を結束させる体験をさせていただきました。針金とハッカーという道具を使って鉄筋と針金を結束させました。手首の使い方にコツがあって難しかったですが、慣れたら楽しそうだと感じました。最後は沖洲高架橋下部工事を見学させていただきました。工事現場まで行ってVRで完成予想映像を見ました。現在の状況からは想像できないほど大きくて、完成されるのが楽しみになり、完成させた時の達成感はずいぶん高いなと思いました。工事をやるにあたってほこりや泥が飛散ないようにネットを張っていたり、散水することで粉塵が発生するのを防止していたり、鉄筋が腐食しないように様々な対策をされていて、工事以外のことにも様々な対策をしていることを知ることができました。

この度はお忙しい中、僕たちのために貴重なお時間をくださって本当にありがとうございました。自分は4年制大学に進学するので建設関係の仕事に就職する可能性は高くないのですが、今回の見学の内容はとてもためになる貴重な体験でした。今回の見学をこれからの授業にも生かしていきたいと思えます。この度は本当にありがとうございました。

7. 櫻川 真

私たちは午前午後合わせて4箇所の建設現場を見学しました。

初めに徳島市川内町鈴江南地先の平成28-30年度 榎瀬川水門新設工事を見学しました。工事の規模の大きさに驚きました。工事の説明においてサンドコンパクションパイル工法など土木施工管理で習ったところがでてきたので理解しやすかったです。工事の平面図がとても複雑で何が何だかわかりませんでした。こんなに規模が大きい作業なのに細かいところまで丁寧に作業をするのは、すごいと思いました。あと、女性や力の弱い人を補助する作業補助装置がとても格好良かったです。今後、建設業界に女性作業員が増えると聞いているのでこのような装置は力仕事が苦手な女性作業員の力になる素晴らしい装置だと思います。これからもこのような装置を普及してほしいと思いました。

2箇所目の現場は、板野郡藍住町奥野字矢上前の藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事を見学しました。現場の中が思ったよりも大きくて驚きました。現場には鉄筋がたくさんあり鉄筋を解体するのにも3か月はかかると説明されていて細かいところまで作業をされていてすごいと思いました。また、完成予定日に間に合わせるために土日出勤や残業をするのは大変だと思いました。構造物の一番高いところが24メートルもあることに驚きました。

3箇所目は、徳島市津田海岸町のH29 徳土 津田インター線 徳・津田海岸橋梁下部工事1を見に行きました。鉄筋と足場で作られた構造物が3箇所くらいありました。そこで鉄筋を結束する作業を行いました。足場を使って登っていく時にすごく高かったので怖かったです。ハッカーとよばれる道具を使い、鉄筋と鉄筋を格子上に結束させました。初めは、結束線が切れたり、結束線が曲がったりしましたがだんだんスムーズに作業できるようになりました。作業が終わった後、工事に直接参加できたという達成感がありました。仕事にやりがいを求める気持ちがわかりました。見学の終わりに頂いた安全帯を使って今後の学習にいかしていきたいと思えます。

4箇所目は徳島市東沖洲2丁目の4-2平成29-31年度 沖洲高架橋下部工事を見学しました。この工事現場は前からよく目にしていたので親近感がわきました。現場のあちこちにいろんな種類の建設機械があり、とても興奮しました。私はまだ1トンのバックホウにしか乗れないのでいつかたくさん建設現場で活躍している乗り物に乗りたいと思いました。現場には切ばりや腹起しや火打ちばり、鋼矢板など、ここでも土木施工で習ったことがでてきて理解しやすかったです。海との距離が近かったのですごく新鮮でした。同じクラスの子のお姉ちゃんが現場で働いていたので女性でも働いていける素晴らしい環境なんだと思いました。今回の現場見学会で、工事にはたくさんの人やたくさんのお金がかかっていることが分かりました。自分の将来のことをより深く考えることができました。私たちに貴重なお時間を頂き本当にありがとうございました。

8.高岡悠我

今回の現場見学会で、貴重な体験をたくさんすることができました。

まず初めに、徳島市河内町鈴江の榎瀬川水門新設工事の現場に行きました。この現場では、南海トラフ地震対策のための話をたくさん聞くことができました。樋門を改築することによって、損傷及び機能低下を防ぎ、津波による被害を軽減できることを知りました。改築することにより、被害軽減額が160億円と聞いて驚きを隠せませんでした。学校では、聞くことのできないようなことも聞けて、とても勉強になりました。

次に、(仮称)藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事の現場に行きました。実際に、見学してみて、複雑な構造に驚きました。シャワー室や更衣室などがついていて、設備整っているなどと思いました。

次に、津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事の現場に行きました。この工事現場では、鉄筋の結束作業を体験することができました。みんなが練習しているのを見ているとき、ハッカーを軽く回していたので自分にもできるだろうと思っていました。しかし、実際に体験してみると、意外とハッカーが重たくて手こずってしまいました。2回目のチャレンジをしたとき、上手く束ねることができました。しかし、橋脚を上っていき高い場所で作業をしてみると中々上手くすることができませんでした。実際に、橋脚の中で作業をさせてもらったとき安全に作業しないと危険だと自分の身で確かめることができました。学校では、できないことをできて本当に楽しかったです。

最後に、沖洲高架橋下部工事の現場に行きました。この現場では、工事に関する話をたくさん聞くことができました。話を聞いて一番驚いたことは、2層にして基礎杭を2.5m間隔で154本打ち込んでいるということです。橋脚を建てるために、基礎を作るだけでこんなにも大変な作業なんだと知ることができました。この現場に行く前までは、この橋を作る目的など一切わかっていませんでした。この橋の目的は、徳島市・小松島市の渋滞緩和や近畿圏と徳島県南地域の連携強化を図るほか、災害時における広域交通ネットワーク確保のための道路だそうです。この話を聞いてとても勉強になってよかったです。この現場で見学していたときもう1つ思ったことがありました。それは、働いているすべての人がとても優しくったということです。わからないことも1個ずつ詳しく教えてくれてうれしかったです。とても楽しそうで働きやすそうな環境だと感じました。

この4か所を周って、体験したことないようなことをたくさんできて、初めて聞くような話もたくさんあって貴重な1日になりました。このたびは、お忙しい中、貴重なお時間を作っていただき本当にありがとうございました。

9.多川 匠

今回私たちは、建設現場見学会に参加し、4つの現場を見学しました。

初めに、徳島市川内町鈴江の榎瀬川水門新設工事を見学しました。この工事は、榎瀬川樋門を改築することにより、南海トラフ地震による樋門の損傷及び機能低下を防ぎ、地震後に来襲する津波による被害を軽減するための工事ということ知り、とても重要な工事だと思いました。この工事の工法はサンドコンパクションパイル工法が用いられていて、授業で習っていたことだったので実際に見ることができてとてもいい経験になりました。また、アシストスーツという便利な道具があることも知り、様々な人が仕事を楽にできるようになると思いました。

次に、藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事（仮称）を見学しました。ここでは、実際に建設中建物の中に入れていただいて、中の構造を見ながら説明をしていただいて面白かったです。足場などが複雑で仮の足場を設けることで工事の作業を上と下で平行して行っていることを知りました。工事が終わった後に取り外す足場の色だけ赤色になっていて工夫されていることを知りました。その足場を組み立てるのに2か月かかると知って驚きました。

次に、津田インター線徳・津田海岸線橋梁下部工事を見学しました。私は、橋に興味があったので今回実際に現場を見ることができて嬉しかったです。また、鉄筋の結束作業を体験させていただき、とても貴重な体験ができました。橋脚に足場を使つてのぼるときは、安全带をつけないといけないことを知りました。結束作業は実際にやってみると難しく、思うようにできませんでした。またその横で、油圧ハンマで打ち込み作業を行っていて、授業で習ったので実際に見ることができ、嬉しかったです。

次に、沖洲高架橋下部工事を見学しました。ここでは VR 映像を使って完成した橋を見られるなど、説明もわかりやすくとても面白かったです。橋脚をたてるための基礎工をみせていただき、地中に2メートル間隔で154本も打ち込まれていると知りとても驚きました。

この度は私たちのために作業の手を止めて、このような会を開いていただき、有難うございました。普段絶対に入ることのできない現場を見学させていただいて、初めて見るものや聞くもの知ることばかりで、驚きがたくさんありました。これまでに授業で習っていたこともいくつかあり、実際に見ることができ、とても面白く楽しかったです。この体験を活かしてこれからの進路に役立てたいと思います。

10. 田中暁也

この度は平成30年度現場見学会に参加させていただきありがとうございました。

まず私たちは、平成28年-30年度榎瀬川樋門新設工事の工事現場を見学しました。そこでは南海トラフ地震などの大規模地震に備えて榎瀬川樋門の新設工事を行っていました。大規模地震にもたえつつ、一級河川である吉野川の氾濫にも耐えられるその樋門は、まだ完成していないにも関わらず間近で見るととても迫力があり驚きました。同時に、これほどの構造物や更にそれ以上の構造物を全国にいくつも造ってきた建設業や土木業、実際に作業する職人の方々などに深い魅力を感じました。

2つ目の見学場所は藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事の作業現場でした。ここでの現場見学では、普段なかなか見ることのできない建設工事中の建築物の内部を見ることができてとても嬉しかったです。内部では作業用の足場や手すりなどが大量に設置されていました。ここで職人の方々が実際に作業をしていると考えると少し気が引き締まったような気がしました。足場は工事箇所によっては十数メートルほどの高さまで組まれていて、下から見上げるとその迫力に圧倒されました。また、あの足場の一番上で作業してみたいという好奇心も沸き上がりました。作業現場の空気を間近で感じることでより一層建設業への関心が高まりました。

3つ目の見学場所は平成29 徳土津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事の作業現場でした。この現場では橋脚の一番上まで登り、そこで鉄筋の交差部分を結束線で固定していくという作業を体験しました。最初に作業員の方がお手本を見せてくださり、それに続いて私たちもやってみました。なかなか

上手くいきませんでした。作業員の方がとても速くきれいに結束作業を行っているのを見て凄いなと思いました。橋脚の一番上は足場の薄さや軋みも相まって最初はとても怖かったです。しかし、結束作業に夢中になっている間にだんだん慣れて平気になっていきました。

最後の見学場所は平成 29-31 年度沖洲高架橋下部工事の工事現場でした。ここでは大型クレーンなどが実際に動いているところをすぐ近くで見学させていただきました。ただ見ているだけなのにそのクレーンや工事のスケールの大きさに圧倒されると同時にとても感激しました。土木業にはこういった魅力もあるのだなと改めて感じることができました。

私は環境土木コースの生徒としてももちろん土木関係の仕事に興味をもっていましたが高か現場を見学できる機会はありませんでした。そんな中このような貴重な体験をさせていただいて本当にありがとうございました。この経験を将来活かしていきたいです。

11.谷内亮太

今回の現場見学会で、榎瀬川水門新設工事、(仮称)藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事、徳土津田インター線徳・津田海岸線橋梁下部工事、沖洲高架橋下部(P17-18)工事、沖洲高架橋下部(P19-1)の4つの現場を見学させていただきました。

まず、榎瀬川水門新設工事の見学では、この榎瀬川に建っていた水門の老朽化に応じて新しい水門の必要性が分かり、この水門は吉野川の沿岸の地域への津波被害軽減対策に対する重要性がよく分かりました。またこの現場では、パワーアシストスーツという装置の説明を聞いて驚きました。重い物を持つときの体への負担を軽減させる画期的な装置でこの装置を装着したら、どんなひとでも作業に参加出来ることに驚きました。

次の、(仮称)藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事の見学では、今回の現場見学会の中で一番規模の大きい建築工事での作業も大規模でした。そのうえこの作業をするための足場を組むのに3か月もかかるほど大変だと思いました。

3つ目の現場徳土津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事現場は、徳島市と県南部をつなぐ高速道路の建設が目的の工事で、新町川をまたぐ橋を架けるための橋脚の建造現場を見学させていただきました。この現場では、橋脚の骨組みとなる鉄筋のぐらつきをなくすために結束線で鉄筋同士を固定する作業を体験させていただきました。自分の中では少し出来ると思いましたがやってみたらできなくて、職人の方達はとても作業が速くて、高所での作業で怖いはずなのに作業に集中していて凄いなと思いました。

4つ目の、沖洲高架橋下部(19-1)では、橋脚を造る型枠支保工をみて、とても勉強になりました。この二つの現場は、海にとても近くて、橋脚の鉄筋が塩害で腐食しないようにエポキシ樹脂塗装鉄筋や最小かぶり増厚や周辺環境への配慮として、杭打ち工事の際近くで行われている養殖や川に面している方向にほこりや泥が飛散ないようにネットを張る工夫や工事で発生する粉塵が周辺に影響に及ぼさないように定期的に散水車で現場内に散水する。など、学校では学ばないような周辺への防止対策の現場を見学させていただいて、とてもいい勉強になりました。

この現場見学会を通して、現場の雰囲気や工事現場の安全対策。など、学校の土木施工の授業で学んだ支保工や既製杭工法などを行っている現場を生で見学でき、徳土津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事を見学する際に鉄筋を結束線とハッカーで固定する体験をさせてもらいました。この現場見学会に参加しないと絶対経験できない体験やお話、見たことのないような機械もあったので興味深かったです。この体験をして、建設業や土木関係の会社に就職したいという気持ちが強くなりました。本当にありがとうございました。

12.長田 響

平成 30 年 11 月 5 日に僕は、現場見学会というとても貴重な体験をさせていただきました。今回は、現場見学会にお招きいただきとても感謝しています。

最初に見学させていただいたのは、榎瀬川水門工事です。この事業の目的は、南海トラフ地震などの大規模地震による津波の被害を軽減するものであって、資料の対策前と対策後の図を比較してみると、対策後のほうが明らかに水の浸水範囲が減っていることがわかります。これによって、想定被害軽減額が 160 億円も減っていて、1 つの水門でこれだけの被害を少なくできることを知りました。パワーアシストスーツという腰にかかる負担を軽減するもので作業をするうえでとても便利なものがあると知ることができました。

2 つ目は、藍住町総合文化ホールの建築現場を見学させていただきました。こちらの現場は、建物の中に入れていただきました。中に入ると、広くて避難所にも使われます。足場を組み立てるのに 2、3 ヶ月もかかることを初めて知りました。工期は約 3 年間でとても長い期間するので大変な仕事だと改めて思うことができました。人々のために体を張って仕事する現場の人は、とても立派だと思いました。

3 つ目に見学させていただいたのは、津田海岸橋梁下部工事です。鉄筋を結束線で固定する作業を実際に体験させていただきました。足場を登って行って作業を行うのですが、上から下を覗いてみると、とても高く危険な場所で作業をしているのはとてもすごいことだと思いました。作業の体験では、固定する作業が難しくて上手く巻きつけることができなかつた。このままうまくいけば、僕らが行った作業の橋脚が残るそうなので、とても完成が楽しみです。最後に安全帯を、科学技術高校に寄付していただき、本当にありがとうございます。

4 つ目に見学させていただいたのは、沖洲高架橋下部工事です。工事概要には、構造物を支える杭において一番大事なのが、杭の先端の層です。沖洲地区ではその先端支持層が N 値 30 以上を基準としており、約 70 メートルから 100 メートル下まで打ち込みが必要です。これほどの深さの杭を打つ工事は全国的に見ても大変珍しく、沖洲地区の地盤が特殊だということがわかります。70 メートルを超える杭と聞いて、そんな杭があることを知って驚きました。「四国 8 の字ネットワーク」を形成するというものがあって、信頼性の高い道路ネットワークの確保や地域の閉塞感の解消など、広域交流と地域の「安心」と「活力」を支える上で重要な事業です。

今回、4 つの現場を見学させていただいて、どの現場もとても難しそうな作業をしていて、でも現場の人は、かっこよく、仕事をこなしていました。僕もこのような仕事に就きたいと思いました。今回のこの現場見学会での体験を今後に生かしていきたいと思っています。この度は、このような貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

13.西野康大

私たちは、平成 30 年 11 月 5 日(月曜日)に徳島県建設業協会のもと、建設現場見学会に参加させていただきました。全部で 4 現場を見学させていただき、それぞれの現場で驚きや発見などたくさんのお話を学びました。

1 現場目は、徳島市川内町にある、榎瀬川水門新設工事を見学させていただきました。そこでは、南海トラフ地震などの大規模地震に備えるために、榎瀬川水門の改築を行う工事でした。対策工法は、サンドコンパクションパイル工法を採用していました。非常に大きな水門を工事するのはとても大変だと思いました。ですが、この工事を行うことで南海トラフ地震による水門の損傷及び機能低下を防ぎ、地震後に襲来する津波による被害を軽減する効果があるので私たちにとってとても大事な工事だと改めて思いました。

2つ目は、板野郡藍住町にある藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事を見学させていただきました。そこでは、文化芸術、防災、合理化が調和した新たな町づくりをコンセプトとして、藍住町総合文化ホールを建築していました。実際に工事中の文化ホールの中を見学させていただきました。工事中の建物に入るのは初めてだったので興味と驚きでいっぱいでした印象に残っているのは、足場の多さです。文化ホールの階数は地上2階建てなのに足場の階数はその倍ぐらいあって驚きました。文化ホールのステージや座席、緑地広場や駐車場を建築するのは大変だけどその大変さが町民が健康で文化的な生活を送り、交流の中で喜びを分かち合うことができる町づくりへと繋がるのだなと思いました。

3つ目は、徳島市津田海岸町にある津田インター線徳、津田海岸橋梁下部工事を見学させていただきました。ここでは、四国横断自動車道の供用に併せ津田IC及びIC接続するアクセス道路におけるランプ橋の施工をしていました。中堀最終打撃方法を採用してまいりました。ここでは、本物の安全帯を着用し、高所で鉄筋を針金で結束する作業を体験させていただきました。思った以上に難しく針金をねじ切ってしまう人も多々いました。安全帯はとても重たく、高所での作業も少し怖かったです。

4つ目は、沖洲高架橋下部工事を見学させていただきました。そこでは、四国8の字ネットワークを形成する四国横断自動車道の一部であり、災害時における広域交通ネットワーク確保を目的とした道路を施工していました。四国8の字ネットワークが完成すると、移動時間の短縮や渋滞を緩和するなどのさまざまな効果があります。VRを使った完成イメージを見たときは、技術が進んでいるなど改めて思いました。

今回、4つの現場を見学して思ったことは、どの工事も大変で慎重に行なわなければならないのでとても集中力や体力が必要だと思いました。最近は、若者が少なくなっているのでパワーアシストスーツなどが使用されています。ですが、効率が悪かったり工事が遅れたりするので、私たち高校生が、工事に対する意識を高めなければいけません。今回の現場見学会は就職に参考にさせていただきます。この度は、お忙しい中ありがとうございました。

14.西前和樹

僕たちは、11月5日の月曜日に現場見学会で、4カ所の現場に行きました。

最初は、榎瀬川水門新設工事の現場に行った。国交省大農建設(株)の方々が榎瀬川水門のことや、南海トラフが発生した時の津波の被害が榎瀬川水門を新設したらどこまで、被害を小さく出来るのかまで、細かく詳しく教えて頂いた。その後アクティオから来て頂いた2人の方がアシストスーツのことを詳しく教えてくださった。実際に2人の科技高生が使って、重いものを楽に持っていた。

2カ所目は、(仮称)藍住町文化ホール等複合施設の建設工事に行った。実際に建設途中の施設内に入ることが出来た。藍住町と西松建設の方々が、施設内を実際に回って行き担当者の方々が詳しく教えてくださった。建設途中の施設に入ることが出来たので、とても驚きや楽しみがあった。

昼から3カ所目は津田にある津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事の見学に行った。津田では、四国横断自動車道の津田インターの橋梁下部工事を行っていた。自分は、高速道路に興味があったので、とても楽しみであった。セノオ・だいまつ建設の共同企業で行われていて、その方々が詳しく教えてくださった。実際にPA2橋脚に針金で鉄筋を組まれていた、骨組みの十字になっている部分に、巻き付ける作業を担当者に教えて頂きながら行い一生に残る思い出になった。また、3つの橋脚の隣で、実際にバックホーや油圧式ハンマーの打撃作業が行われていた。その他にドリルで中堀を行っていた。

最後の4カ所目は、沖洲高架脚橋下部に行った。3カ所目に行った場所と同じく四国横断自動車道の一部が建設されていた。ここでは、国交省の戸田建設(株)と(株)安藤・間の方々が詳しく教えてくださった。ここでは、橋脚の他に橋を架ける作業を行っていた。実際にスマホを使ってVRで橋が出来た時の

様子を見ることができた。仕事をしている社員を見ていて橋を架ける作業をしている所やバックホーで、整地をしている社員の運転技術と教科書でしか見たことがないものが見ることができ、良い勉強になった。反対側にあった橋脚は、少ししか見ることができずとても残念であったがなかなか入れない場所に行くことができてよかった。

今回は、僕たちのためにととてもお忙し中このような大変貴重な時間を作ってください誠にありがとうございました。自分は、二級土木施工管理技士が、部活の試合で受験できなかったのもので、来年の二級土木施工管理技士を受験するのにとても良い勉強になりました。学校では、写真や動画でしか見ることが出来ない機械や工法を見ることが出来て、土木の知識力が深まりました。土木での就職しようとする気持ちが強くなりました。

本日は、このような貴重な時間を作ってください誠にありがとうございました。

15.藤守諄樹

私たち、徳島科学技術高校の環境土木コース・建築コースは平成30年11月5日に徳島県建設業協会主催の現場見学会に参加させていただきました。午前は榎瀬川水門新設工事現場と藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事現場を見学し、午後は徳・津田海岸橋梁株工事現場の見学と沖洲高架橋下部工事現場見学に行きました。

始めは榎瀬川水門新設工事現場に行きました。そこでは樋門の役割や改築による効果を学び、パンフレットを見ながら工事手順を聞きました。その他にアシストスーツの説明も受けました。説明の後に希望者が試着することも出来たのですが、手を挙げる事が出来なかったのも少し残念でした。

次に、藍住町文化ホール等複合公共施設建築現場に行きました。ここでは最初に全員で工事予定や足場のこと、基本的なコンクリート強度についての説明を受けました。そして2つのグループに分かれて建物の中を歩いて見学しました。ここで特に心に残ったのは足場の数の多さです。見学に行く前は足場を立てる時間は短いと思っていたのですが組み立てだけで2か月以上もかかると聞いてとても驚きました。工事予定には2019年1月頃に完成予定と書いているので完成すると1度は見に行きたいと思いました。

3か所目は、徳・津田海岸橋梁下部工事現場の見学に行きました。ここでは最初に全員で説明を聞き、4つのグループに分かれて2グループずつ橋脚の鉄筋を針金での結束作業を体験しました。前半は先に体験しているグループを下で待っている間に針金で結束する練習をしていたのですが、1度目は針金を回す方向を間違えて上手くできなかったのですが2度目は上手くすることが出来ました。そして自分たちのグループが体験するときには安全帯を装着して体験する場所に上がりました。足場を上がっていると足場が沈んだりしてとても怖かったです。そして思っていたより足場が狭くて人がすれ違うだけでも大変でした。ヘルメットを被っていると上を見ることが少し大変で体験中に何度か足場や手すりに頭をぶつけてしまうことがありました。実際に作業している人は足場という動きにくい場所でいつも作業していると知り、身を持って大変だと感じました。橋脚の周辺では油圧ハンマー打撃の作業をしていましたが、近くで見ることが出来ませんでした。しかし、実際に見ることが出来るととても心に残りました。

最後に沖洲高架橋下部工事現場の見学に行きました。ここではVR体験をした後に作業現場に行きました。そこでは作業している機械を近くで見ることが出来ました。作業をしている機械は写真や教科書で見て想像していた大きさとは比較にならないほど大きくて、とても心に残りました。

今日は、徳島県建設業協会の方や作業を中断してまで説明していただいた方々、本当にありがとうございました。今日に現場見学会に参加して学んだことをこれからの進路選択に活かして、よく考えて決めていこうと思いました。今日は、本当にありがとうございました。

16.船戸涼平

私たち徳島科学技術高等学校は平成30年11月5日、建設現場見学会に参加させていただきました。

初めは榎瀬川水門新設工事現場を見学させていただきました。私は水門がどういうものか分かりませんでした。話を聞き水門がどのようなものかということがわかりました。水門の上に窓があり、その部屋に従業員の方がいると聞いて私は寂しくはないのかなと考えていました。私はアシストスーツを着させていただき作業を行えることにワクワクしました。

2つ目は(仮称)藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事現場を見学させていただきました。建築中の建築物の中に入るのは初めての体験でした。中に入ると足場がぎっしりとつまっていて迷路のようでした。文化ホールは見はらしがよく、なにもわからない私から見たらほぼ完成していると思いました。一通り歩き回っても足場は頑丈で自分たちを含めた多くの人が歩いても揺れや軋みもなく凄かったです。質問の時間で、「もし作業の完成に遅れた場合どうするのですか」という質問に対し、「遅れることはありません。もしそうなってしまう場合は、絶対に遅れることがないように土・日曜日にも仕事をします」ということを聞きました。従業員全員がさぼらずに作業していかなければならないので、私が、就職したら全力で作業していこうとおもいました。

3つ目は、津田インター線徳・津田海岸梁下部工事現場を見学させていただきました。橋脚はとて大きく学校の2階ほどの大きさでした。現場監督さんが「今回は橋脚の現場に携わってもらい、作ったものをそのまま橋脚の一部にします」とおっしゃった時はとても驚きました。もし、自分のせいで橋脚が倒れてしまったらと考えたりしました。だから、針金のような物をクルクルと回す作業は、2回3回としっかり練習しました。1回目の時はクルクルと現場監督さんが簡単にやっていたので自分もできると思ったのですが、思ったほど回らなく簡単かもと思っていた私が恥ずかしくなりました。本番の橋脚に上るときはしっかりと安全帯をつけさせてもらい、つけかたが分からなかった私に対してもやさしく教えてもらったのは嬉しかったです。本番は練習をしたかいがあり、一瞬ででき、褒められて上機嫌でした。私たちがお手伝いした橋脚が立派に完成するのを想像すると嬉しく感じました。

最後に沖州高架橋下部工事現場を見学させていただきました。私達は海沿いの工事現場を見学し、実際に作業をしている所を間近で見ました。橋脚の一番下のところを見ると鉄筋があり、授業でならった切梁と火打ち梁あり、思ったよりも大きく、しかも広範囲で驚きました。鉄筋を機械で釣り上げ、下にいる人がひもを引っ張ってという作業を見て、かっこいいと感じました。VRをくんだり橋の完成形が想像しやすくとても大きな橋ができるんだなと思いました。それを作っていると考えると私はワクワクし自分も作りたいと強く思いました。

今回の見学会は4社の方たちはとてもお忙しい中、私たちのために見学あせていただきありがとうございました。私は、インターネットなどで工事現場の動画や作業風景を調べたりしていましたがあまりわからずにいました。ですが、今回の見学会のおかげで作業や雰囲気分かり、私の就職に対して実感が湧きました。本当にありがとうございました。

17.松浦銀史郎

平成30年11月5日、月曜日、現場見学会に参加させて頂き、ありがとうございました。

私は、この現場見学会で行った、榎瀬川水門新設工事、藍住町文化ホール等複合公共施設建設工事、津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事、沖州高架橋下部工事で、中の足場や何をしているのかなど、自分の目で見たということは、私にとってとても貴重な経験になりました。

1つ目の現場は、榎瀬川水門新設工事でした。ここの現場は、私がよく車で通る道で、以前から何をしているのか不思議に思っていたので、見学ができて非常に嬉しく思いました。ここでは、地震・津波

対策をしていて、津波の浸水面積、被害戸数、被害人口、被害額の軽減効果があり、想定津波範囲図を見せてもらい説明をしていただいたので、とても理解することができました。また、ここでは、作業補助装置を体験することができ、私は、しませんでしたでしたが、体験した人から感想を聞くと、物を持ち上げたとき、機械が補助してくれるから、苦でないと言っていました。最近の土木現場は、年配の人がほとんどだと聞いたので、このような装置をつけることで負担を軽減できることは、作業者からすると、助かるのではと思いました。

2つ目の現場は、藍住町文化ホールの工事現場でした。建物の中だったので暑いのかと思っていたら、凄く寒かったのが驚きました。外の作業はもっと寒いそうなので、体力のいる仕事だと改めて思いました。作業中の現場の中は、足場がたくさん組み立てられていて、凄く興味がわきました。工事の経過をドローンで撮った写真を見せてもらおうと、新地の場所から、徐々に建物が建っていく作業工程がとても気になりました。

3つ目の現場は、津田インター線・徳・津田海岸は橋梁下部工事でした。ここでは、高速道路の橋脚を施工していて、実際に橋脚に上り安全带をつけ、作業をさせてもらいました。足場の幅は人が一人通れるかぐらいで、高さは少し頭を下げないと頭が当たってしまう高さでした。上に行くと、すごく高く下を見ると怖かったです。そして、鉄筋をワイヤーで固定する作業をしました。力加減や回す回数が多くなると、ワイヤーが切れてしまいました。作業していた方は、スピーディーでミスもなくしていたので、素晴らしかったです。また、現場の別のところでは杭を打っていて、音や振動をすごく感じました。

4つ目の現場は、沖洲高架橋下部でした。個々の現場は、四国8の字ネットワークを形成する四国横断自動車道の一部を施工しており、渋滞緩和や近畿圏と徳島南地域の連帯強化を図るほか、災害時のネットワーク確保を目的とした道路の橋脚を施工していました。私はこの現場で疑問に思ったことがあります。それは、どうやって川の上に橋を施工するかです。聞くと、大阪などで橋を施工し、それを船に乗せて持ってき、ワイヤーで釣り上げて橋脚の上まで持ってきて、接合させるそうです。そのような発想がなかったので、すごく驚きました。また、VRを使い完成予想を見ることができました。VRが工事現場で使われているのにも、驚きました。

私は、現場見学を通して、土木の仕事近くで見ることができ、自分の将来就こうと思っている仕事の参考になりました。もっと、土木の仕事を見てみたいと思う気持ちができることは、自分にとってプラスになったので、よかったです。本日は、お忙しい中、このような現場見学会に参加させていただき、本当にありがとうございました。

18.宮崎晃行

平成30年度11月5日の現場見学会に参加させていただき有り難うございました。

私は、今回の建設現場見学会で平成28年度-30 榎瀬川水門新設工事、(仮称)藍住町文化ホール等複合公共施設建設工事、平成29 徳土津田インター線徳・田海岸橋梁下部工事・平成29-30 年度沖州高架橋下部(P17-P18)・平成29-31 年度沖州高架橋下部(P19-P1)工事の4つの工事現場を見学させていただきました。

午前の1つ目の現場榎瀬川水門新設工事では、工事概要書や平面図など分かりやすい資料をいただき1つ1つの工事がどのようなものなのかを知ることができました。その中でも強く記憶に残っているのは、「サンドコンパクションパイル工法による」液状化などの防止です。なぜかという知らない技術がある中で授業でも知っている工法だったからだと思いますその現場では水門だけ出なくパワーアシストスーツの説明や実演ということも行ってくださいました。それは、とても興味が湧くもので男として

とても夢を感じました。

午前2つ目の現場である藍住町ホール等複合公共施設建設工事では、ほとんど完成しているということもあり現場の中にまで入らせていただきました。普通では、内部まで見ることができないので内部に足場があるというのがとても新鮮に感じました。ステージの上にある足場はとても高く吹き抜けになっていてホール自体ではないのですがとてもきれいでした。見学の後は現場の説明をしていただき建物について詳しく知ることができました。つ祖茂中で印象に残ったのは足場の組み立てや解体にかかる期間が3か月から2か月近くもかかるということです。効率よく作業を進めるためには、必要ですがそんなに長いのかと思ってしまいました。

午後の1つ目の工事現場である津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事では、見学にもかかわらず学生である私たちに、橋を実際に作る作業をさせていただきました。初めて、自分が作ったものが実際に使われるかもしれないというのが将来土木の職に就きたいと思っている自分にとってとてもうれしかったです。現場の方々もユーモアのある方が多くて針金をつける作業も緊張することなくできたと思います。練習の時に一本だけ針金をねじ切ってしまったのが心残りです。現場の見学の最後には、安全帯などの道具をくださるという驚きもありました。

午後の2つ目の現場である沖州高架橋(P17-P18・P19-P1)工事では、最後ということもありとても疲れていましたが、VRの最新技術を使った完成予想図を見せていただきとても楽しむことができたように思います。現場では、とても大きいクレーンがいくつもあり現場という雰囲気がとても感じられました。その中でオーガを使った杭の工法が、実際に見たことがなかったのでその大きさにとても驚きました。現場の一番奥の鋼矢板が使われていたところでは、資料とは違う大きさを感じられました。火打ちや切梁がとてもおおきかったのが印象に残っています。そこで話を聞いて驚いたのがその下に100本以上の支えが入っているということです。

私は現場見学というものを初めてしたのですが現場の感覚がわかったように思いますこのような貴重な体験ができたことを心からありがとうございました。

19.山田翔瑛

今回の現場見学会に参加することによって、今まで授業では知ることがなかったものを知ることができたり、知っていたけれど直接見るのは初めてのものばかりで、とても勉強になりました。

まず、徳島市川内町鈴江の榎瀬川水門新設工事に参加しました。榎瀬川樋門を改築することにより、南海トラフ地震による樋門の損傷及び機能低下を防ぎ、地震後に来襲する津波による被害を軽減できるということを知り、とても大事な仕事だと分かり、そのような工事に将来携わってみたいなと思いました。アシストスーツというとても便利な道具があることを知り、老人の方でも重たい物が持てるので仕事がスムーズに出来ることが素晴らしいと思いました。僕たちが仕事をする頃には、さらに便利な道具があるかもしれないので、とても楽しみです。

2つ目は、(仮称)藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事を見学しました。最初見たときは大きくてびっくりしました。中の構造も複雑で完成が予想できないほどでした。足場を組み立てたり、解体するだけでも長い時間が必要ということも聞けて、とても勉強になりました。

次に、徳島市津田海岸町の津田インター線 徳・津田海岸橋梁下部工事に参加しました。ここでは実際に、鉄筋の結束作業を体験させていただきました。初めて結束しているのを見たときは、とても簡単そうだなと思っていたけど、実際に自分でやってみるとハッカーを回すのが思っていたより難しくて驚きました。安全帯を初めて付けることができたので、少し嬉しかったです。橋脚をのぼったら思っていたより高かったので、一番上で結束の作業をしていた時は、少し足が震えました。結束の作業をする時

に鉄筋の高さをはかりながらずれないように結束するのは大変そうだと思います。大変そうだったけれど、面白そうだったので、そのような仕事もしてみたいなと思いました。

最後に徳島市東沖洲 2 丁目の沖洲高架橋下部工事に参加しました。VR で完成した後の橋が見えたので、工事中の橋と完成した橋を見比べて、楽しみながら話を聞くことができ、とても分かりやすかったです。話を聞いていると、2 層にして基礎杭を 2.5m 間隔で 154 本打ち込んでいると知って、とても驚きました。基礎を作るだけでも大変そうなので、橋を立てるのはどれだけ大変なのかが、とても気になりました。

初めて現場見学をしましたが、作業員の方々がとてもやさしくて、分からないことを質問したときには 1 つ 1 つ丁寧に教えて下さったので、とても分かりやすかったです。仕事でお忙しい中、僕たちのために現場見学会を開いて下さり、本当にありがとうございました。この現場見学会のことをふまえて、自分がどのような仕事をしたいのかを考えようと思います。

20. 吉田知史

1 か所目に榎瀬川水門新設工事見学に行きました。水門の前を通ることはあったが工事をしている中の様子を見るのは初めてでした。見学したのは水門本工体工だったがとてもきれいで完成された榎瀬川水門を早く見てみたいと思いました。工事の範囲がとても広いが、かなりの範囲が進んでいると思いました。既製杭工を打ち込むのを勉強しただけだったが、写真がとても分かりやすく説明の方もとても詳しくわかりました。昔の水門が中性化でコンクリートが腐食しているのがよくわかりました。サンドコンパクションもあまりわからなかったが資料の概念図と施工条件を見てとても分かりやすかった図でした。地震でおこる液状化を想定していて色々な工夫をしていると思いました。作業補助装置は、重いものを持つときに腰にかかる負担を軽減してくれるとても便利な物と知りました。多少の重いものを楽に持てて、作業の時間が短縮できるととてもいい補助装置だと思いました。自分は、重いものを持つときによく腰が痛くなったりするので現場にあると助かると思いました。南海トラフ地震の津波がきても水門のおかげで、大幅に被害が削減され、多くの方が助けられると思いました。

2 か所目行った見学先は藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事の現場へ行きました。まだ足場がかなりあったが外観はほとんど完成していて特に印象が大きかったのが、工事中の作業現場の中を見ることができたことです。ホールの部分の客席の 1 階部分と 2 階部分と舞台部分を見させてもらいとても勉強になりました。さらに、客席が 600 席ほどあるのでかなり広いホールができると思いました。避難所にもなっておりたくさんの方が入ってこられるようになっていてとても大きいホールになると思いました。

3 か所目は津田インター線津田の海岸橋梁下部工事に見学と体験に行きました。橋脚の鉄筋に針金をくぐる体験ができたが、足場がかなり高くそれにくくらせるのがとても難しかったです。終わった後に杭工事の説明してくれとても時間がかかる作業と思いました。僕は現場見学会が終わった後インターシップで近くに来ていて同じ作業をしているのが見えてとても勉強になりました。工事の手順もわかりやすく写真にしてくれて杭工事の手順がどう進んでいるのがわかりました。油圧ハンマーの騒音がとてもでかくて驚きました。

最後の 4 か所目が沖洲高架線工事現場へ行きました。四国八の字ネットワークを形成しており見学に行ったのは新町川に橋を掛ける工事の見学に行きました。2 か所に分かれて、沖洲地区下部施工フローの見学に行きました。特に見学した中で印象に残ったのは下部工の切梁や、腹起し、火内張の鉄筋部分が見学出来たことです。掘削に使う機械やオーガの先端部分も見学ができて良かったです。オーガがとても長くかなり深く掘削できると思いました。もう 1 か所は時間の問題で見学できなかったがどんなこ

とをしているのかが知りたいと思いました。

僕も将来このような仕事に就きたいと思いました。貴重な体験をありがとうございました。

21.吉本海哉

1ヶ所目に行った榎瀬川水門工事の現場では、地震や津波が起こった時に生じる液状化現象を防止するサンドコンパクションパイル工法や、軟弱地盤の部分を既製コンクリートで固い地盤まで打設して支える基礎工などの説明をしてもらった。ひとつひとつの作業に時間をかけて、もしも、災害が起こった時に、被害を最小限に抑えるようにすることは、自分たちが安心して生活するためにとっても重要なことだと思った。最後の方では、作業補助装置の体験もあった。自分はやらなかったが、実際に体験しているのを見て、もっとこのような、作業の負担削減に係る道具が増えていったらいいと思った。

2ヶ所目に行った藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事の現場では、実際に建物内部を見学して回った。足場が多く組み立てられていて、その組み立てにも、ものすごく時間がかかっている聞き、ひとつひとつの作業にたくさん時間をかけ、丁寧に、住民が安心して使用できるような建物を造っていることが分かった。製作期間に間に合うように工程表を作り、期間内に終わらせられるように残業をしたり、作業員を増やしたり、作業ペースを上げたりしていて、「まず、自分たちが定めた期間を超えることはない。超えないように一生懸命努力して作業しています。」と言っていた。確かに期間を超えるのは、構造物をはじめ、様々な建物を造る上で決してあってはならないことだと思う。しかし、様々な工程がある上で、1つの工程にどれだけ時間を使うのか、作業を行う上での道具や機械の準備をどうするかなど、決めなければいけないことがたくさんあるのに、それを完璧にこなすのは、工程表を作成する人、作業をする人の経験や努力によってなされるものだと思う。

3ヶ所目に行った津田インター線 徳・津田海岸橋梁下部工事の現場では、津田インター線のランプ橋の橋脚の部分を主に見ていった。その際に、橋脚の上部まで登り、鉄筋を補強する作業をした。ハッカーという道具を使い、結束戦を鉄筋に結束していった。手首を使って回すのがコツと言われたので、言われた通りにやってみたが、思うようにいなくて苦戦した。しかし、やっていく内にコツをつかんでスムーズにできるようになって嬉しかった。こうして実際に自分たちが利用するかもしれない橋の橋脚部分の工事に携わることが出来てとても良い経験になった。

最後に行った沖洲高架橋下部工事の現場では、杭打設中の所を見に行っただ。施工で勉強した、切ばり、腹起し、火打ちばり、中間杭など知っていたものを実際に間近で見ることが出来た。更に、支給されたバーチャルリアリティーを使って、今現在行っている工事の完成形も見ることができた。まだ製作段階の場所がバーチャルリアリティーで見たような立派な構造物になることがとても楽しみだ。

今回はこのような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。授業ではやらないようなことが沢山学べたのでこの体験を生かして、もっと土木に関することを勉強していきたいと思います。

22.佐伯麻里

今回の現場見学会では、「榎瀬川水門新設工事」「(仮称) 藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事」「徳土津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事」「沖洲高架橋下部工事」の4つの場所にお邪魔させていただきました。

まず、1つ目に行った「榎瀬川水門新設工事」では、南海トラフ地震などの自然災害に備えて榎瀬川の樋門の改善を行っていました。私は川内の榎瀬に住んでいるので、2年ぐらい前からあの場所で工事をしているのを見ていてずっと気になっていたもので、近くで水門を見ることが出来て感動しました。また、説明をしてくださった時の資料にあった計画津波(L1津波)が来襲した場合の対策前と対策後での

被害想定グラフの地図に私の家も載っていたのを見た時に他人ごとではないなと思ったと同時に現場で働いている人達のおかげで、私達の地域が守られているのだなと改めて実感しました。そして、ここではもう1つ貴重な体験をさせていただきました。それは、作業補助装置を着て重たい石を持ち上げる体験です。残念ながら時間の都合により私はすることが出来ませんでした。何人かの人がやっているのを見ていると装置の電源を入れている時と入れていない時ではスムーズさが違って見えているだけでも面白かったです。

次に、2箇所目に行った「(仮称)愛住町文化ホール等複合公共施設建築工事」では、2019年1月に向けて何でもする事ができる会場を造っていました。ここでは、実際に建築中のホールの中に入れていただきました。建築中の建物の様子はテレビでしか見たことがなかったので、実際に入ってみるとスゴく新鮮で、360°建物の中を作業過程に釘付けになりました。例えば、天井にはいくつかの穴が開いていてコードのようなものがぶら下がっていたり、壁や床が全てコンクリートで覆われていたり、普段決して見ることが出来ないところを見ることが出来ました。また、こういった仕事にとっても興味を持ちました。

そして3箇所目に行った「徳土津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事」では、四国横断自動車道の建設を少し体験させていただきました。約11mの橋脚に作ってある足場に上がりました。その際に安全ベルトを腰に付けて柱と柱を固定するために針金を巻き付ける作業をさせていただきました。その私達の巻いた針金を実際に使っていただけるようで、工事の仕事に携わることが出来てとても嬉しかったです。また、質問の時には私達の質問にも分かりやすく答えてくださり、良くわかりました。

最後に4つ目に行った「沖洲高架橋下部工事」は、津田インター線と繋がっていて、四国の高速道路を8の字で繋げる作業を行っていました。ここでは、VRで完成した後の景色を見せていただいたり、作業をしている様子を近くまで行って見学させていただきました。そこで、施工技術管理技士の資格のために勉強していたものがたくさんあり、実際に見ることが出来たのがすごく面白くためになりました。

今回それぞれ違う4つの場所に行き、普段出来ない体験やお話を聞けて、行く前より土木関係の仕事に興味を持つようになったし、就職への視野が広がりました。今回は、お忙しい中私達のために時間をさいて貴重な体験やお話をしてくださりありがとうございました。

23. 堺 未来

今回、初めて現場見学会に参加させてもらって、土木のお仕事への興味や関心がますます高まりました。最初は聞くだけ聞こうかなぐらいに思っていたのですが、その工事をしている実物を見ると、もっと知りたい、もっと見てみたいと思うようになっていきました。

最初に見学させていただいた「榎瀬川水門新設工事」では、あんなに長い距離を約2年で完成できるんだと思ひびっくりしました。2年という短い期間で、こんな立派な水門ができることはすごいと思います。南海トラフが来ても、この水門が災害を軽減することができると知り、私も町を守れる仕事に就けたらいいなと思いました。また、パワーアシストスーツの紹介を受けて、力仕事も女性がすることができると言ううれしく思いました。私もアシストスーツの体験を試みたのですが、想定装着者の条件に合わなかったため装着することはできませんでした。でも、将来そういう仕事に就くことができれば、いつか使ってみたいと思います。

2つ目の「藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事」では、初めて工事中の建物の中に入って、すごく興奮しました。中はひんやりしていて、これから寒い時期でも工事するのだと思うと、大変な仕事だなと思いました。でも、これからたくさんの人が使うことを考えると、すごくやりがいのある仕事だなと思いました。皆でひとつのものを造る達成感、他のどの仕事にも負けない魅力だと思います。ま

た、仕事をしている人達の目を見ると、とてもこの仕事が楽しそうなのが伝わってきました。

3つ目の、「津田インター線 徳・津田海岸橋梁下部工事」では、橋の工事に携わらせてもらえるというとても貴重な体験をしました。型枠を外れないように針金を巻きつける作業だったのですが、すごく難しく中々できませんでした。そしてびっくりしたのが、その針金が何万本も手作業で取り付けられているということです。普段何気なく見ていた一本の柱が、こんな細かい手作業によって支えられているということを知ってとても感動しました。橋は壊れてしまえば大変なことになるので、この仕事はとても責任感を感じる仕事だなと思いました。そんな責任のある仕事をさせていただいて、私はとても誇りに思います。

4つ目の「沖洲高架橋下部工事」では、津田インター線と繋がっていることにびっくりしました。ここで私は大きな絆を感じました。他の会社と協力して、分担してひとつのものを造り上げるという壮大さがすごいと思いました。どちらかが一歩間違えれば、関係が悪くなってしまうリスクがあるのに、協力して作業することがすごいと思いました。私はずっとその会社だけがすると思っていたので、これを機に考えが変わりました。

1日に4つも見学させていただいて、とてもためになりました。授業でしか習わなかったものが、実物で見ることができたのでとても嬉しかったです。

私は環境土木コースですが、全然土木系の仕事に就くことは考えていませんでした。でも、実際見学してみて、そこにしかない魅力ややりがいなどを感じ、知ることができ、土木系の仕事も考えてみたいと思いました。これからは、もっと土木の勉強をして、土木への興味・関心をもっと向上していきたいです。この度は、このような見学会を設けてくださり本当にありがとうございました。

24.中川そら

私は平成30年11月5日に、現場見学会に参加させていただきました。

最初に、榎瀬川水門新設工事の見学をしました。この樋門は、南海トラフ地震などの大規模地震による被害を軽減させるためにつくられていると聞きました。実際に新しい樋門が完成したときの被害額が160億円も減少するというデータを見て、この樋門は多くの人々や建物を守る、すごい役割を果たすのだなと思いました。樋門の説明が終わり、次にアシストスーツについての話を聞きました。このスーツを着用すると、女性でも楽に作業ができるので、これから女性の作業員が増えると、作業には欠かせないものとなるので、もっと開発が進んで力がない人でも、楽々作業ができるようになったらいいなと思いました。

2カ所目は、藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事を見学しました。この現場では、完成前の建物の中に入れていただきました。完成前の建物に入るのは初めてだったので、すごくワクワクしました。この施設は、避難所や保健センターなどの複数の施設が入るので、町民の皆さんの憩いの場となったらいいなと思いました。そして、この文化ホールで開催されるであろうミュージカルやコンサートを、私も楽しみにしています。

3カ所目は、津田インター線 徳・津田海岸橋梁下部工事を見学しました。この現場では、2・3階の高さの足場に登って、鉄骨に針金をハッカーで取り付け作業をさせていただきました。私は、そのとき初めて安全帯を着けて思ったより重いなと感じました。でも、初めての体験ばかりで、興奮が収まりませんでした。針金をハッカーで取り付け作業は、一見簡単そうに見えましたが、難しく少し苦戦しました。ですが、針金が切れることもなくしっかりと取り付けることができたので嬉しかったです。しかも、私たちが取り付け針金が、そのまま建築物になると聞いてドキドキが止まりませんでした。完成するのが本当に楽しみです。そして、杭工事の話もさせていただきました。いただいた資料の、写真

つきの説明もわかりやすかったです。騒音の対策として、防音装置を使用すると基準値を下回る騒音の測定結果となったと知り、防音装置のパワーはすごいなと思いました。実際に、杭を打っているときの音はしていましたが、気にならない程度の音だったので、やはりすごいと思いました。

最後は、沖洲高架橋下部の見学をしました。この見学では、四国を8の字でつなぐ計画が進められていると知りました。8の字の道ができれば、すごく利便性が上がるなと思いました。それと、施工で学んだ切りばり・腹起こし・火打ちを目の前で見ることができ手嬉しかったです。女性の作業員さんもいて、かっこいいなと感じました。

今回の現場見学会で体験・見学させていただいたものは、どれも初めての経験で、土木・建築の現場の仕事がどのようなものなのか気になっていた私にとって、とても参考になりました。これからも土木の勉強を頑張っていこうと思いました。ありがとうございました。

25. 長崎ひなる

私は、平成30年11月5日に、現場見学会に参加させていただきました。

最初に、榎瀬川水門新設工事の現場に行きました。様々な作業内容の説明をしていただいたおかげで、水門のことを知らない私でも興味が湧いてきて、もっと知りたいと思いました。後半ではアシストスーツの説明をしていただいたときに、女性作業員をもっと増やしたいとおっしゃっていたので、自分もこのような仕事に就けたらいいなと思いました。

次に、藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事の現場に行きました。中に入れると思っていなかったので驚きました。ホール内全体の工事の説明をしていただきながら見学したので、非常に分かりやすくきちんと理解できたので、とてもためになりました。でも意外にも中は寒いということが分かったので、これからどんどん寒くなっていくので、体調管理に気をつけて完成予定の2019年10月までに間に合うよう頑張っていたきたいと思います。

次に、津田インター線 徳・津田海岸橋梁下部工事の現場に行きました。ここで初めて津田で高速道路を作っていることを知りました。まずここでは橋脚に実際に上がって針金とハンマーを使って鉄骨を留める作業を行いました。人生初体験だったので心が弾みました。上がっているときは足場が揺れることもあったため少し怖かったけれど、鉄骨を留める作業のときは思ったよりも楽しくて怖さも忘れるぐらいでした。終わった後は、杭工事の説明をしていただきました。学校の授業で動画を見たことはあるけれど、実際に施工をしているところを見るのはこれが初めてでした。ハンマー打撃をしているとき、打ち込み音が大きくてびっくりしました。でも資料に防音装置を使用していると書いていたのを見て、本来ならこの状態異常に音が大きいのだと思い、少し聞いてみたくなりました。

最後に、沖洲高架下部工事の現場に行きました。私達、環境土木コースは、切ばりやドリルを見に行きました。10月28日に2級土木施工管理技士の学科試験を受けて、そのときの問題に”腹起こし・切りばり・火打ちばり”が出てきたので思い出しながら見学しました。火打ちばりを作っているところを見て、危険な作業をクレーンを使って一生懸命作っている姿に感動しました。プリントやVRを使って説明していただけたので、とても分かりやすいうえに見学が楽しくなっていました。

私はコンクリートのことに興味があり現場のことはそれほど関心がなかったけれど、様々な現場で大変な作業をしている皆さんの姿を見て、自分もこのような仕事をして色々な方の役に立ちたいと思い、現場への関心が高まりました。将来の就職先を考える際に、これらのことを思い出して、土木関係の仕事に就きたいと思います。最後になりましたが、将来のためになる現場見学会の場を設けていただき、本当にありがとうございました。これからの進路選択の時に役に立てていこうと思います。

26. 村上日奈子

私は、この現場見学会に参加して、日頃授業の教材や映像でしか見たことがない、機械や道具、工法を実際に見たり体験したりできてとても感激しました。

最初に見学させていただいた榎瀬川水門新設工事では、南海トラフ地震の対策で樋門を強化する工事を見学させていただきました。この工事を見学して、私たちの生活に建設業は無くってはならないものだと改めて感じました。そして、パワーアシストスーツのように、高齢者や女性でも楽に作業できるような新しい技術も発展していてとても驚きました。

2つ目に行った藍住町文化ホール等建築工事では、初めて工事中の建物の中に入れてうれしかったです。中は少し肌寒くて、冬だととても寒くて大変だろうと思いました。でも、建物が完成したときには、達成感がすごく得られるのだと考えたら、このような現場の仕事も悪くないなと思いました。藍住は地元でもあるので完成したら、すぐ見に行ってお職人さんたちの想いをおかみ締めたいと思います。

3つ目に行った津田海岸橋梁下部工事では、初めて鉄筋に針金を取り付ける作業を手伝わせていただき、とても嬉しかったです。最初、職人さんがお手本を見せてくれたときは、とても簡単そうにやっていて、もしかしたら、結構簡単な作業なのかなと思ったら、実際にやってみると、とても難しくてさすが職人技だなと思いました。そして、もうひとつ感動したのは、安全帯を始めて装着させていただいたことです。今まで名前は聞いたことあったけど実物を見たのはこの日が初めてでした。割と高性能でとてもかっこよかったです。しかも、その安全帯を寄付していただいて本当に嬉しい限りでした。

そして最後に行った4つ目の沖洲高架橋下部工事の見学では、四国を8の字で結ぼうという計画が進められているということを知りました。これが完成したら、とても便利だなと思いました。そして、私は、(P19~P1)の現場を見学させていただきました。そこでは最初にVRで完成のイメージ図を見せていただきました。説明を聞くだけではイメージしづらかったのですが、VRで見ることによってとてもイメージしやすかったです。そして、基礎工を見たときは、施工の試験で習った切りばりや腹おこし、火打ちばりを間近で見ることができ、復習になりました。

この一日で見学してきたものは、どれも初めての体験でとても新鮮でした。この体験を活かして将来の仕事に就いたときには頑張っていきたいと思います。

27. 森本萌花

私は、この現場見学会に参加して色々なことを学ぶことができました。

最初に榎瀬川水門新設工事の見学をさせていただきました。この工事は南海トラフ地震などの大規模地震や津波などによる被害を軽減するために行われている工事です。この工事によって、被害額、浸水面積、被災人口などが約半分ぐらい軽減していたので、これから先とても必要となるすごく重要な工事だということを知り、感激しました。最後に見せていただいたパワーアシストスーツは、重いものも簡単に持つことができたり、女性や高齢者の方でも楽に作業ができるというもので、最新の技術の発展にとっても驚きました。

2つ目に見学させていただいた藍住町ホール等の建築工事では、実際に工事中の建物の中を見せてもらうことができ興奮しました。たくさんの足場が組まれていて、すべての足場を組み立てるのに2ヶ月かかると聞いたときは、そんなにかかるんだとびっくりしました。色々なところを見学させていただいて、現場で働くのも楽しそうだなと思いました。

3つ目は、津田海岸橋梁下部工事の見学をしました。ここでは、実際に建築物に針金を取り付ける作業をさせていただくことができました。はじめに、職人さんがお手本でやり方を見せてくれたときはすごく簡単そうで、私でもできるだろうなと思っていました。けれど、実際にやってみると想像以上に難

しくて、ちゃんと取り付けることができましたが見た目が少し汚くなりました。下に下りた後に模擬体験のものでもう一度させていただくことができ、そのときはうまく取り付けることができたのですごく嬉しかったです。その他にも、初めて安全帯の実物を見せてもらったり、実際に装着させていただいたりしてとても貴重な体験ができました。この工事にほんの少しだけ携わることができたので、完成がすごく楽しみです。

最後の4つ目に見学した沖洲高架橋下部工事では、VRで工事完成イメージの映像を見せてもらうことができました。すごくリアルでイメージがしやすかったです。そして、工事現場のすぐそばまで近づいて工事の様子を見せていただくことができました。大きな機械がたくさんあって、あんなに大きなものを操作しているのがすごいと思いました。

今日1日色々な工事現場を見学して、授業や教科書でしか見たことのなかった機械や工法などを見ることができたり、体験できたりしてとても感動しました。そして自分の進路の参考にもなり、現場で働く楽しさややりがいを学ぶことができたのでこれからの自分の進路に役立てていけたらいいなと思います。この現場見学会に参加できてよかったです。

平成 30 年度高校生の建設現場見学会感想文

◇徳島科学技術高校 建築コース 2 年生◇

1.岩花準也

この度は、貴重な体験の場を設けていただきありがとうございました。人生で初めての現場見学で非常に有意義な時間を過ごせたと思います。

まず、榎瀬水門新設工事では、水門が完成することで来襲する津波の被害を軽減し、被災人口を約 850 人も減らすということを知りました。建設業は『命』を守る仕事もしているのだなと思いました。

藍住町文化ホールの建設工事では、完成途中の建物内に入ることができ、非常に貴重な体験をさせていただきました。内部は非常に複雑でしたが、用途が決まっている部屋はきちんとわかりやすく表示されていました。細かいところまで工夫しているのだなと思いました。完成した時が楽しみです。

津田インター線、津田海岸橋梁下部工事では、緊結の体験をさせていただきました。最初は上手くできませんでしたが、何回かやっていくうちに慣れてきたと思います。現場で働いている人の手本を見ると一瞬でできていたので驚きました。何回もする人の手際はとてもよかったです。また、緊結はとても高いところで体験させていただきました。足場がとても不安定で少し怖かったです。いつもあの高さで仕事をしているのだなと思ったら、大変そうに感じました。

沖洲高架橋下部工事の現場では、とても大きな橋を作っていることがわかりました。この橋ができることで、災害時や渋滞緩和などに役立つので非常に便利だと思いました。

今回の現場見学で習った事を忘れずに、授業に活かしていきたいと思います。この度はお忙しい中、本当にありがとうございました。

2.宇山朋希

この度はこの様な貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

榎瀬川の体験では水門の必要性やアシストスーツの体験の場を設けていただきました。水門があることで南海トラフによって起こる津波の被害をかなり抑えられることを知り、今まで知らなかった水門の必要性が分かり良かったです。また、アシストスーツの体験では実際には着いていませんが、他の方の感想を聞いて便利なものだなと思いました。また、アシストスーツを着ることで最近、建設業界で増えている女性の方でも力仕事ができ、仕事の効率が良くなると思いました。

藍住町総合文化ホールの体験では実際に工事中の建物の中に入れてもらい、質問の時に足場を作るだけでも数ヶ月かかることを知り、建てるということが本当に大変だなと改めて思いました。現場の方には本当に感謝しなければならないと思いました。

津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事の体験では、実際に足場を上がらせてもらい緊結の体験をさせていただき、足場を上がった時、現場の人たちはいつもこんな高いところで複雑な作業をして凄いなと思いました。緊結も職人の方がすると簡単そうに見えましたが、実際に自分でするとハッカーを上手く回せず少し難しかったです。沖洲高架橋工事でも足場を上らせてもらいました。柱の中に青色の柱があり、その理由が海に近いから普通の柱だと錆びやすいということを知り、いろんな環境に合わせているのだなと思いました。

今回の体験で学んだことを活かし、自分の目標へ向かっていきたいです。

3.浦 隆真

この度は、このような場を設けて頂いて、ありがとうございました。そして忙しい中現場の作業中にお邪魔して申し訳なかったのですが、とても貴重な経験ができました。現場を見ることができてとても良かったし、本で見るのと実際に現場に行ってみるのでは全然違うし、とても迫力を感じた現場見学でした。とてもいい体験が出来たと思いました。また、各現場で、プリントで分かりやすくまとめてご指導していただき、とても分かりやすかったしとても丁寧に説明していただき、本当に良かったです。

1つ目は、水門新設工事を見に行きました。水門は津波がくると、少しでもその被害を最小限にしてくれるので、とても大切な役割があるので、新設するのは、とても大事だと思いました。車や船が通るなかで大変な作業だと思うし、町のためにもそれを作るのは大切だと思いました。

特に心に残った所は3つ目の津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事を見に行ったことです。その現場では、実際に結束線で止める作業を体験しました。結構難しい作業だと思ったのですが、親切に教えてくださったので、とても分かりやすく簡単に作業することが出来ました。この経験はいい体験になり、こんな事は中々なかったのでとても楽しかったし、いつもこのような大変な作業をされていて、すごいなあと思いました。今回の現場見学を通して色々な事を学ぶことが出来ました。今回学んだたくさんのことを授業や将来にいかしていこうと思いました。ありがとうございました。

4.大塚 陸

この度はこのような機会を設けていただきありがとうございました。

まず初めに榎瀬川水門新設工事を見ました。榎瀬川桶門新設工事の目的は、南海トラフ地震などでの大規模地震に備えるため、榎瀬川桶門の改築を行うということなので、とてもありがたいことだと思いました。改築理由は、旧榎瀬川桶門函体部は、大正11年施工され約90年が経過する無筋コンクリート構造であり、旧榎瀬川桶門の門柱部は昭和56年度に改築されていますが、約30年が経過していて、コンクリートの中性化による鉄筋腐食などの老朽化が見られるからです。地震による桶門の損傷、ゲート閉塞不能の事態にならないように、早急な整備改築を行うからだと知ることができて良かったです。主な事業効果等は、榎瀬川桶門を改築することによって、南海トラフ地震による桶門の損傷及び機能低下を防ぎ、地震後に来襲する津波を軽減するということを知ることができて良かったです。被害軽減効果は浸水面積が約40ha減って、被災人工は約850人減って、浸水戸数は約380戸減って、想定被害軽減額は約160億円減ってすごいと思いました。基礎工とは、榎瀬川桶門周辺の地質は、地表から30メートル程度まで砂層や粘土層などの軟弱地盤があるため、既製のコンクリート杭を基礎地盤となる固い地盤まで打設し、桶門本体を支える工法であるということを知ることができて良かったです。液状化防止対策は榎瀬川桶門の真下には、砂層などの液状化層が8メートル程度分布しているため、地震後に、桶門函直下に発生する液状化現象に伴う空洞化を防ぐため液状化防止対策を実施するということを知ることができて、良かったです。今回はこのような機会を設けていただきありがとうございました。

藍住町総合文化ホール建築工事の見学では、実際に工事中の建物の中に入れてもらいありがとうございました。

津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事の体験では、足場を上らせてもらい緊結の体験をさせていただき、足場を上ったとき、とてもこわかったです。

5.奥田智哉

この度は、貴重な体験をさせていただき誠にありがとうございました。今回の現場見学会では得たものがたくさんありました。

1つ目の現場は、川内町にある榎瀬川水門新設工事で、今まであった水門では津波がくるととても多くの被害が出るというデータが出ていました。しかし、新設すると被害が物凄く減るということで、為になる改築だなと思いました。

2つ目の現場は、藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事で、実際に工事現場の中を見学させていただいて、自分が思っていた以上に足場が多くてとても驚きました。また、足場の組立作業だけでも2、3か月かかるというのにも驚きました。

3つ目の現場は、津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事で、ここでは、実際に足場を上ってハッカーで緊結をさせていただくととても貴重な体験ができました。もしかすると一生残るものになるかもしれないので、この工事に少しでも携わることができていい経験となりました。

最後の現場は、沖洲高架橋下部工事で、2つの現場がありましたが1つしか見学できなかったのはとても残念でした。しかし、ここでは杭工事の様子がしっかりと見えて授業で習って分かりにくかった部分を実際に見て理解できたのでとても良い経験となりました。

今回は、4つの現場に行って、行く前よりさらに建設業に携わりたいと改めて思いました。建築物はずっと残るものなので、とてもやりがいのある素敵な仕事だと改めて思いました。また、この機会があれば、ぜひ参加したいと思いました。

6.奥畑一貴

現場見学会に参加して、教科書で勉強するより実物を見て教えていただく方が分かりやすかったです。

まず、最初に行った榎瀬川樋門改築工事では、地震、津波での被害の軽減させることが考えられていてすごかったです。そして、酸やアルカリ性など科学の分野が出てきたので勉強しないといけないなと思いました。

2つ目に行った藍住町総合文化センターは大きい建物でところどころ部屋が完成していました。中に入ったときにとっても寒かったのでこの中で作業するのは辛いだろうなと思いました。作業している人が寒さは我慢するしかないと言っていたので根気の強い人に向いているのかなと思いました。中を回っていて思ったことは、ネットや板などで入り組んでいてこれを人がするのはすごいと思いました。

3つ目に行った津田インター線は結束線を体験させていただきました。初めはハッカーが難しくてなかなかうまくいかなかったけど何回かするうちに使い方が分かってきました。でもきつく締めることができず、職人さんが軽々とされているのを見てすごいと思いました。

4つ目に行った沖洲高架橋工事は足場に上りました。錆びないために紫色の塗料が塗られている鉄筋があって初めて見ました。10メートルの杭が埋まっていてそれを見たことない機械が杭を引き上げていました。

4か所を現場見学しましたがまだ知識が全然なくて、質問がうかばなかったけど体験したことは覚えておいて就職したときに忘れないようにしたいです。パワーアシストスーツなど高齢化が進む中で少しでも作業をしやすくなるようになるアイテムができているということで体の負担が少なくなるならとてもいいことだなと思いました。今回は、とても貴重な体験させていただき本当にありがとうございました。

7.小倉鳴海

今回の現場見学会に参加して、授業で習ったことを実際に見ることができて、とても良い経験になりました。

1か所目の榎瀬川樋門改築事業では、古くなった水門を新しくするだけなのに、車が通行できるよう

に新しい道を作ったり、門を改築する前と改築後の被害の軽減なども計算したりしていて細かいことまで考えていてビックリしました。プリントとパネルを使って施工の進め方を丁寧に教えてくれてとても分かりやすかったです。補助スーツの体験は、ただで軽く持ち上げられているのが分かりました。

2 か所目は藍住総合文化ホールの建築途中の現場に実際に入らせてもらい、外だけでなく内部にもたくさん足場を設置しているのを知りました。工事 STEP のプリントでは、ステップ①の何も無いところから、ステップ⑨の完成予想までの工程が分かりやすかったです。

3 か所目の津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事では、安全帯ベルトを着けて 15m ぐらいの足場の上で実際に緊結の体験をさせてもらい、最初はハリガネが切れたりして上手くできなかったのですが、最後は慣れてどんどん早くなっていきました。そのあとに職人さんがやったのを触らせてもらうとギッチギッチに締まっていて、すごいと思いました。

最後に沖洲高架橋下部の工事を見させていただきました。鋼矢板を抜き出すところを見たり海からの被害を防ぐために鉄筋に塗料を塗ったりしていろいろな工夫が見られました。科技高の先輩も実際に現場に出て働いているのを見て自分も現場で活躍したいと思いました。

最後に、私たちに貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

8.佐野里久邦

この度は、お忙しい中貴重な体験をさせていただき誠にありがとうございました。私は、今回の現場見学会に参加して自分の将来についてもっと考えていきたいと思いました。色々な現場を拝見し初めて知ったことがたくさんありました。

1 か所目の榎瀬川水門は、いつも横を通りすぎるだけで一部しか見たことがなかったので全貌を見ることができてとても貴重でした。この水門があることで地震や津波などの災害による被害が大幅に軽減できるのはとても驚きました。また、工事などにパワーアシストスーツというものが用いられていることを初めて知りました。

2 か所目の藍住町文化ホールは初めて聞いた場所だったのでとても興味がありました。建設中の建物の中に入るのはとても貴重な体験でした。この建物を立てるための足場を組むのに外側は2か月、内側は2か月から3か月、解体するのに2〜3か月もの時間がかかると聞いたときはとても驚きました。

3 か所目の徳・津田海岸橋では実際に足場に上り、鉄筋を結束線で緊結したことはとても印象に残っています。200 トンもあるクレーンや3点式杭打機が動いているのを間近で見ることができて良かったです。

4 か所目の沖洲高架橋のところも前からよく見たことのある場所だったので、そこについて詳しく知ることができて良かったです。あの橋の柱一つを建てるのに1年半もの時間がかかることにとても驚きました。地盤が崩れるのを防ぐためにあの柱の下に200枚もの鋼管矢板を入れるということ初めて知りました。

4つの現場を見学して建設業のことについてもっとたくさんを知りたいと思いました。今回の現場見学会で学んだことを自分のこれからは活かしていきたいと思います。またこのような機会があれば参加したいと思います。この度は、本当にありがとうございました。

9.島 拓希

この度は、このような機会を設けていただきありがとうございました。まず始めに行った榎瀬川水門新設工事の現場では工事に携わっている方々からの説明を聞いて、南海トラフ地震が近い将来来るので旧水門から新水門を作り、地震が来てもきちんと水門が作動して津波の被害を予想では大幅に減らして

いたのすごいいました。あとパワーアシストスーツは体験している人が、すごい腰が楽だったと言っていたけれど元は介護用の道具なのだと思いました。

2 か所目に行った藍住町総合文化ホール工事現場では、建物が建っている途中の中に入ったことがなかったのでとても面白かったです。完成後では、見られないような場所も見ることができたのでとてもうれしかったです。あとお茶とおしぼりありがとうございました。

3 か所目に行った津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事の現場では、鉄筋を緊結する体験をさせていただいてとてもうれしかったです。職人さんが使っている緊結するための道具を県の職員さんと一緒に貸していただき使ってみました。最初に使っていた物よりも軽く回るけど少し重かったなと思いました。

最後に行った沖洲高架橋工事の現場では3班に分けられて工事現場に上って説明を受けました。津田インター線と違って海が近いので鉄筋の色が青かったことに驚きました。塩害対策用に塗装をしていると聞いていました。鋼矢板を抜いていた機械に特許を取っていると聞いていたことにも驚きました。このような経験ができるととても良かったです。

10.須崎颯一郎

この度は、僕たちのためにこのような現場見学会の場を設けて頂きありがとうございました。

1 つ目に見学した榎瀬川水門新設工事では交通量が多い道路なので通行止めにはできないので仮の道路をつくって工事しているのを知り驚きました。その樋門改築工事をするによって地震・津波対策事業によって被害軽減効果が浸水面積、約 40 ヘクタール減り、浸水戸数が約 380 戸減、他に想定被害軽減額が約 160 億円減も軽減されると思うとする価値はあると思いました。

2 つ目に見学した藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事では普段見られないような建物の完成前の単管足場でいっぱいの際に見られて、すごく勉強になりました。他にも一般的な住宅では見られないホールの大空間につくられた足場も日常生活では見られないのですごく勉強になりました。

3 つ目の現場の津田インター線 徳・津田海岸橋梁下部工事では、普段絶対できないような体験をさせてもらいました。橋脚に上って鉄筋を結束線とハッカーで固定する作業をさせていただきました。その作業は職人さんを見ているとすごく簡単そうにしているので簡単なのかと思って、実際してみると、ハッカーを扱うのも結束線を扱うのも難しかったです。でも、何十本もさせてもらおうと、少しはうまくなったのかなと思います。このような体験をして勉強になりましたし、自分の結束したものがそのまま残ると思うと、すごくうれしいです。

4 つ目の現場の沖洲高架橋下部では 2 つの現場がありました。1 つしか見学出来なかったのは残念でしたが普段見られないような杭工事の様子が見ることが出来るととても勉強になりました。

今回の現場見学会では学べるものがたくさんありました。この経験を今後に活かしていきたいです。ありがとうございました。

11.須本英暉

11月5日、月曜日、僕たち徳島科学技術高等学校2年環境土木コース・建築コースは建設現場見学会に参加しました。見学した現場は全部で4つ現場、榎瀬川水門新設工事、(仮称)藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事、津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事、沖洲高架橋下部工事でした。

まず、榎瀬川水門新設工事では、南海トラフ地震による被害を軽減するために水門の改築を行っていることを知りました。今回見学した工事現場の中で唯一前から知っていた工事、それがどのような手順で、何のために作られているのかを知るととても興奮しました。

(仮称)藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事では、今回見学した現場の中で唯一の建築工事で、他の工事とはまた違ったものでとても興味深かったです。なかでも、建物の内部に組まれた足場の量にはとても驚きました。今まで工事現場を外からでしか見たことがなかったのでいい経験になりました。

津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事では、工事の流れの説明だけでなく、実際の現場で鉄筋の緊結作業を体験させていただきました。職人の方が最初に手順を説明してくれているときは、とても簡単そうに見えましたが、実際にやってみるととても難しく思うようにできませんでした。しかし、なかなかできない貴重な体験ができてとても楽しかったです。

沖洲高架橋下部工事では、工事の内容は津田海岸のものと似た部分が多かったのですが、鉄筋に塩害を防ぐための塗料が塗られていたり、細かいところに違いがあって面白かったです。

今回の建設現場見学会を通して、より建設業に興味が湧きました。今回学んだことを生かして、日頃の学校での専門教科の勉強により一層力を入れていきたいと思いました。この度はこのような機会を設けていただき、本当にありがとうございました。

12.谷川卓嶺

この度は、私たちのためにこのような機会を設けていただきありがとうございました。

1つ目は、榎瀬川樋門に行きました。現場見学に行く前は、何の工事をしているのかわからず横を通りすぎていましたが、旧榎瀬川樋門のコンクリートの中性化による鉄筋腐食などの老朽化、地震による樋門の損傷、ゲートの閉鎖不能の事態にならないようにするためだと初めて知りました。改築により地震後の津波による被害を軽減することはとてもすごいなと思いました。

2つ目は、(仮称)藍住町文化ホール等複合公共施設に行きました。話を聞いていて、足場組みを2カ月かけ取り外しも2カ月かかると聞いてとても大変だなと思いました。完成前の建物に入ったことがなかったのでも感動しました。完成したら行ってみたいです。

3つ目は、津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事を見に行きました。ここでは、「PA1」橋脚の緊結の体験をしました。安全帯を初めて付けました。足場を上っていると少し怖かったです。緊結は、初めのほうは、難しくなかなかできませんでした。回数を重ねるごとにできるようになりました。なかなかできない体験ができて自分の将来の選択肢が増えました。

4つ目は、沖洲高架橋橋脚工事を見に行きました。鉄筋が青紫色だったので驚きました。話を聞いてみると、酸化を防ぐ薬で、塗らないものよりも何十年も長く持つことにびっくりしました。

今回、このような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

13.八田将希

今回4か所の現場に行行って思ったことがあります。1つ目は、現場についてから配布された資料に予想以上に細かく寸法や部材名が示されていて驚いたことです。建築物は、少しでもずれると地震や津波などで倒壊する危険性が増えるので大事なことだと思いました。その現場では、パワーアシストスーツというスーツがあり、実際に使用している人を見て、本当に軽そうだったのに驚きました。

2つ目は、作業現場での足場に数が非常に多かったことです。建物ひとつにもたくさんの部材や足場が必要になって費用も多くかかることがわかりました。

3つ目は、鉄筋を固定する作業の体験で高く狭いところでの作業は、とてもやりにくく、大変でした。結束では最初、うまくいかなかったけど、回数を重ねるたびにうまくいくようになりしっかり固定できるようになったので良かったと思いました。貴重な体験をありがとうございました。

4つ目は、同じ現場でも、いくつもの建設会社関わっていて驚いたことです。建設会社が分担して

いたのは、聞いたことがありましたが予算や担当するところが細かく決まっていることは知りませんでした。

今回の現場見学を通して、これからの建設業は、若者の力がどんどん必要になってくると思います。でも、パワーアシストスーツというものを持ち上げるときに、軽く感じる便利なスーツが、出てきているので建設業が少しでも楽に早く作業できるようになってほしいと思います。また、働き方改革も出ていっているので期待しています。

僕は、将来建設業に就きたいと考えており、建設業は、後世に名前が残る仕事なので就職したら責任をもって最後までやり遂げたいと思っています。そして、その分、やりがいもあると思うので今のうちに勉強して、現場で活躍出来るようにしたいと思っています。今回の現場見学では、本当に良い経験ができたと思います。現場の方々や関係者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

14.東原怜音

この度は貴重な体験をさせていただき誠にありがとうございました。

僕は、現場見学会に参加してとてもいい体験ができました。僕は、中学1年生ぐらいのときに、橋を建てている作業を見て、この橋はどのようにして建っているのか、なぜ車がたくさん通っているのに折れないのかなど不思議に思っていました。

また、僕はバスケットボール部に所属していて、町民体育館などで試合をするのですが、その時に建物の外装や内装を見て、この体育館の施工に携わった方はすごいと思いました。

そして今回自分の知りたかったことが知れたのでとてもうれしかったです。

僕は将来、建築関係の仕事に就きたいと思っているので、藍住町文化ホールの現場を見て、あんなに多くの足場を組むだけで大変だと思うのに、それから外装と内装を作っていくのだと思うと気が遠くなると思いました。でも、その建物が完成したときの達成感などはすごいんじゃないかと思っていました。また、普段見えないところを見せていただきますます建築関係の仕事に就きたいと強く思いました。

僕はパワーアシストスーツの体験をしました。最初は変わらないだろうと思いましたが、実際にしてみると、とても軽く持てたので腰への負担が少なくなり作業もしやすくなると思いました。最近の建設業界には女性の方も増えているので仕事の効率が良くなると思いました。

このような貴重な体験をありがとうございました。今回学んだこと、体験したことはひとつの思い出になりました。また、この事を将来にいかしていきたいです。本当にありがとうございました。

15.廣常海斗

今回現場見学会の計画をしていただいてありがとうございました。この見学会では日頃見ることができない作業を見ることができてとても嬉しかったです。

最初に見た川内町の水門は、前々から車の中から見て大きいなあと思っていたけれど、近くで見るともっと大きく見えてこんな大きな水門を作っているのかととても感動しました。設計図を見ても、とても難しい構造で外から見ると意外とシンプルなのに中身は本当によくできているなあと思いました。

2つ目に行った藍住町の文化ホールでは、とても多くの足場が組み立てられているのを見て、建築物の施工はとても大変だと感じました。僕は昔からなぜ工事は何年もかかったりするのだろうと疑問に思っていたけれど、今回の見学で工事の内容や作業のしんどさを知ることができたので良かったです。

2つ目に行った津田インターの高速道路の工事では、鉄筋の緊結を体験させてもらってとてもいい経験になりました。簡単にできるものだと思っていたけれど、案外うまくできなくて苦労しましたが最後

の方はうまく結束できて良かったです。

最後に行った沖洲の高速道路の現場では、ちょうど鋼矢板を抜いているところを見ることができてとても興味深かったです。橋の基礎を見て規模がものすごく大きくてとても感慨深かったです。

現場見学会のおかげで今までよりも建設業に興味が湧きました。本当にありがとうございました。

16.前西剛志

今回、現場見学会に参加して普段の授業では学べないことや、体験できないことをたくさん経験させてもらいました。

まず1つ目の現場は、榎瀬川水門新設工事の見学でした。近々80%以上の確率で来るといわれている、南海トラフ地震での津波の影響が水門を改築することでより多くの範囲の建物の被害を抑えることができると知り、自分たちの知らないところで対策が行われているのだなと思いました。アシストスーツも今後女性の作業員の方やたくさんの人を助けることができる素晴らしい発明だなと思いました。

2つ目は、藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事の見学でした。最近老朽化が進む建物も多い中、改築したくても予算の問題などがあり、思うようにできない現実があることを知り、簡単に改築もできないのだなと思いました。しかし、日ごろ、外から眺めている工事現場の中を見学できるのは、普通ではなかなかできないことなので貴重な体験をさせていただきました。

3つめは津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事の現場に行きました。そこで、鉄筋の緊結作業の体験をさせていただきました。建築物の大きさから考えれば小さなことでも、その作業を怠ることによって大事故につながるので、小さいことでも厳かにせず丁寧にしなければならぬと思いました。

4つ目は沖洲高架橋下部工事の現場に行きました。僕たちは現時点の一番高いところまで上りましたが、実際は僕たちがいたところの倍以上の高さまでであると聞き、これ以上の高さでの作業は未知の領域だなと思いました。

今回このような貴重な現場見学をさせていただき、建設業を目指すものとしてはとても勉強になりました。またこのような機会があればもっと色々な情報を吸収しこれからの糧にしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

17.松原冬真

今回、現場見学会に参加してとても良いことを学べたと思います。

まず、最初に榎瀬川樋門改築事業を見学しました。僕の家で近くで、結構前から工事していたのでどんなことをしているのか気になっていました。そこでは、水門の改築工事が行われており、近々起こると言われている南海トラフ地震など大規模災害での被害を減少させるために大事な工事なので頑張っしてほしいと思いました。

次に、藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事の現場を見学しました。自分は建築コースなので、ここでは何か学べたらいいなと思っていました。建物の中にはものすごい数の単管足場がありました。話によると、組み立てるのにおよそ2か月かかると言っていたので、大きい建築物を建てるのには材料だけではなく足場もたくさん必要なのだなと思いました。

次に向かったのは、津田インター線の橋梁下部工事をしている場所です。そこでは、橋の土台部分の工事をしていました。その現場で、ハッカーを使い結束線を固定する作業を体験しました。作業自体はあまり難しくなかったのですが、作業する場所がとても高いところで少し怖かったです。毎日あの高さで作業をするのは正直無理だと思いました。

最後に沖洲高架橋工事を見学しました。そこでは、高架橋の下部工事を行っていました。鉄筋が腐食

するのを防ぐために、エポキシ樹脂塗装鉄筋や最小かぶり増厚で施工するなど様々な工夫を知ることができました。

今回見学させていただいた4か所では、学ぶことがたくさんありました。今後の授業で活かせるといいなと思いました。この度は、このような機会を設けていただき本当にありがとうございました。

18.三谷璃輝

僕は現場見学に初めて参加するので、すごく楽しみにしていました。それに、僕は今年の現場見学のことを少し調べていました。現場で撮られている写真と実際に現場で見るとでは迫力が違いました。現場では同じことを教えてくださる場面もありましたが、違う現場で同じことを教えてくださるということはとても大事なことだと実感しました。

最初の榎瀬川水門新設工事現場ではパワーアシストスーツを拝見させてくれました。介護の分野などで使われているようで、これを取り入れ建設業に女性が就きやすくなると言っていました。効果も数時間あるなしでは違いがあると思いました。こんな便利な道具の発達で水門の工事の作業スピードを上げたり、人員を増やすことができるようになってほしいです。

次の公共施設建築工事現場では足場がたくさんある中を歩いて見学させていただきました。その足場で1番高い所は25メートルぐらいで組むのに約2か月かかったと聞いて驚きました。1番高い所まで行けなかったのは残念ですが、たくさんの足場の中を歩いたのは貴重な体験でした。

次の津田海岸橋梁下部工事現場ではこの現場にある「PA1」と書かれた足場に安全带ベルトをつけて上がりました。そして、その上で結束線とハッカーを使い鉄筋と鉄筋が交わる部分を固定するという作業をしました。ハッカーを使いこなすには経験が必要だと感じました。鉄筋の太さは荷重や高さなどで変わると言っていたので、設計の授業などで計算できるようにして現場で活かすことができるように取り組んでいきたいです。

最後の沖洲高架橋下部工事現場では、普段は見られない橋の柱の中身にある杭が70~100メートルが50本、珍しくて100本あると聞き驚きました。そして、鉄筋には塩害を防ぐための特殊な塗装が施されていました。ひとつひとつ、対策がされていたのを見ることができたり、今回の現場見学会で建設業に就職することでどんな仕事をするのかが一部だけでも知ることができて参考になりました。お忙しい中このような機会をもうけていただきありがとうございました。

19.棟 大樹

今回は現場見学という、貴重なお時間を頂きましてありがとうございました。日頃の学習では学ぶことのできない現場の雰囲気や、実態、状況を知ることができました。

1つ目の現場では、榎瀬川水門新設工事の見学でした。近々起こると言われている南海トラフ地震の影響を最小限に減らすための改修工事でした。それと、今後、役立つであろうアシストスーツの体験の場も与えてくれました。

2つ目の現場は藍住町文化ホール等複合公共施設建築工事の見学でした。藍住町は全体的に建物が古く、建て替えなければならない、でもそれだけの費用や土地が必要になり大変なので複合施設を作る必要があったそうです。現段階ではほぼ完成形でしたが、中に入るとたくさんの足場があり、高いところでは25mほどだそうで、職人さんは常に命がけで仕事をしているのだなと思いました。完成前の建物を見る機会はないので貴重な体験ありがとうございました。

3つ目の現場は津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事の見学でした。そこでは足場に上がらせていただき、鉄筋の緊結をさせて頂きました。僕たちが作業したものが残ると思うと、とても嬉しいです。

貴重な体験をありがとうございました。

最後の現場は沖洲高架橋下部工事の見学でした。そこでは3つ目の現場と同じように工事をしていました。足場に上がらせていただき、いろいろな説明をしていただきました。印象に残っているのは、沿岸部なので、鉄筋に色を塗り腐食を防いでいたということです。完成したら見えないところなのに十分に気を遣っていて、すごいと思いました。

この度はお忙しい中貴重な体験をさせていただきありがとうございました。自分は将来、建設業に就きたいと考えているので、とてもいい体験でした。今回の現場見学で、見たこと学んだことを今後の授業などで活かしていきたいと思います。

20.阿部莉奈

私は今回の現場見学会に参加して、やはり現場で働く方が自分に合っているなど感じました。

1つ目の川内町では水門の現場見学をさせていただきました。津波対策用の改築工事だと仰っており、この水門が完成すると津波が起きた時の被害が激減するというデータもでているのでとてもやりがいのある仕事だと思いました。パワーアシストスーツの試着体験もしてみたいと思いましたが体重と身長制限があってすることができなかったのが少し残念でした。

2つ目の藍住町では文化ホールの現場見学をさせていただきました。普段では絶対に見ることのできない建物の内部を見ることができ、建物の中に多くの足場があるのはとても不思議な光景に思えました。

3つ目の津田海岸町では津田インターの足となる部分の現場見学させていただきました。そこでは、安全帯の体験や結束線の体験をさせていただくことができ、初めてでしたがやり方をわかりやすく教えていただいたのでとても楽しく良い経験をすることができました。しかも自分たちの作業した結束線はそのままコンクリートの中に埋まって残ると仰っていたのでとても嬉しく思いました。

4つ目の沖洲では高架橋下部の現場見学させていただきました。ここでも足場に上がらせていただくことができ、安全帯をスムーズにつけることができたのでちょっと成長したかなと思いました。案内してくれたのが女性の方だったのでとても話しやすく鉄柱が青い理由や普段の仕事環境などについていろんな事を教えていただくことができたので良かったです。

私は将来、住宅の現場を中心とする現場監督になりたいと思っています。初めて工事現場に入って知らないことだらけだったのでもっと勉強を頑張り、なりたいものになれるようにしたいなと思いました。

とても楽しく面白く良い知識となる経験をさせていただき本当にありがとうございました。

21.市原舞花

私は、施工現場は外からしか見たことがなかったので今回普段見ることのできない部分が見学できるとなって楽しみにしていました。実際の現場では、初めて知ること、見ること、触ることがたくさんあり本当に貴重な体験をさせていただきました。

榎瀬川水門新設工事では、工事しやすくするために道路を新しくすることを初めて知りました。旧の水門を生かしながら新しい水門を改築するのが難しいとお聞きしました。また、パワーアシストスーツは、女性職人が増えている現在頼りにされるアイテムになると思いました。身長、体重制限があり今回はできなかったのですが制限を超えたら使ってみたいです。

藍住総合文化ホールが工事中の建築に入るのが初めてでした。思っていたより足場の数が多くてびっくりしました。30mの杭を10mずつにして3本溶接して繋げることを知り、杭は、全て1本だと思っていたので驚きました。完成したら、もう1度行って足場が外れて大空間になったホールを見たいです。現場の方から、「もう建っている建築物が施工しているときにどこに足場があったかを考えるのも面白

いよ。」と教えてくれました。考えたことがなかったのでしてみようと思いました。

津田インター線では、16mの足場に上り鉄筋を結束したことが印象に残っています。初めは、なかなか上手にできず現場の方に何度もやり方、コツを教えてもらいました。最後の方は、上手にできたのもありました。現場の方に、「上手になったで。」というお言葉を頂いてとてもうれしかったです。優しく何度も教えてくださって、素早く結束する姿はカッコよかったです。

沖洲高架橋工事では、鋼矢板をクレーン機械を使って外しているのが印象に残っています。施工の授業で習ったことを実際に見ることで教科書だけでは、想像がつきにくいことが目で見て、耳で聞いてよくわかりました。

今回の現場見学会で学んだことを日々の学習生活、将来自分が就職したときに生かしていきたいです。本当にありがとうございました。

22.尾崎果奈

現場見学会に参加して、普段の授業では学べないことが学ぶことができたり、習ったことを実際に見ることができてよかったです。

1つ目の現場では、水門をつくっていました。何のために水門を作っているのか今までは知らなかったし、それが津波からの被害を少なくするための水門だと知って建築・土木業は建物や橋を建てるだけでなく被害防止に関しての物も建てているのだと知ることが出来ました。

2つ目の現場では、実際に建物の中に入って造りを見ました。足場がたくさん組んでいて、完成して足場がなくなったときの想像は全くできなかったけど、完成前の工事現場を見ることができてとてもいい経験になりました。

3つ目は、津田インターの施工現場に行きました。そこでは、実際に橋脚に上って鉄筋の結束をしました。高いところに上っての作業は、少し怖かったけど作業に携わることができてうれしかったです。私たちが結束したのは、ほんの一部で、すごい本数の鉄筋を結束しないといけないのは大変だと思ったし、職人さんは、作業にも慣れていて手際よくしていてすごいと思いました。

4つ目に行った現場は、海がすぐ横にあって、鉄筋が錆ないように塗装されていてそれぞれの場所によって工夫されているんだなと思いました。

今回の現場見学で、今自分が学んでいることは実際どのような職業なのかを間近で見えてとても勉強になりました。わたしが思っていた、男性ばかりで重労働な仕事というイメージが変わって、とてもやりがいのある仕事なのだと思います。

今回は、このような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

23.蔭山ほのか

私は、現場見学会に参加し、県内の4箇所の現場を見学しました。県内にどんな現場があるのか知らずどんなものをつくっているのだろうと興味があったので楽しみにしていました。

印象に残ったのは、吉野川の水門の改修工事の現場でした。水門の工事の現場は想像もしたことがなかったのですが、資料を見ながら工事の工程のお話を聞いていると初めて知ったことがたくさんありました。水門の役割は川の水の調整をすることだけだと思っていたので、津波の被害を減らすことができると聞いて驚きました。また、頑丈な見栄えをしている水門も放っておくと次第に弱くなり、南海トラフなどの大地震で崩れてしまうと知り自然の力を恐ろしく感じました。しかし、改修工事を行うことでたくさんの人を救うことができ、やりがいのある素晴らしい仕事だと思いました。

3つ目に見学させていただいたのは、津田インター線橋梁下部の工事でした。そこでは、鉄筋の結束

の体験をさせていただきました。私は高所恐怖症なので、高さ 16m で毎日細かい作業をしている職人さんのすごさを改めて感じました。

最後に見学させていただいた現場には、女性の現場監督の方がいらっしやり、とても格好良く見え、憧れを持ちました。男性が多い業界で女性は働きにくいと思っていましたが、最近女子更衣室や女子トイレも設けられ働きやすくなったとお聞きしました。

ひとつひとつの工程に意味があることに気付かされ面白く感じると共に、建設業の魅力を改めて感じました。この度は貴重な機会をありがとうございました。この経験を進路選択やこれからの学校生活に役立てていきたいと思います。

24.笠井優月

私は、11月5日に4箇所の工事現場を見学させていただきました。

まず、榎瀬川水門新施設工事では近い将来、起こると言われている南海トラフ地震による樋門の損傷及び機能低下を防ぎ、地震後に来襲する津波による被害を軽減する工事について学びました。私たちの生活にも影響するので身近に感じる事ができる現場でした。

次に、藍住町文化ホール等複合施設建築工事を見学しました。私は藍住町に住んでおり複合施設が出来ることを知っていました。内部の見学をさせて頂き、ますます完成が楽しみになりました。

午後からは、津田インター線橋梁下部工事の現場に行きました。安全帯の装着をして、地上約10mまで足場で上り鉄筋の結束を体験することが出来ました。現場監督の方は結束を簡単そうにしていたのですが私がすると巻き過ぎて切れたりハッカーから外れたり、とても大変な作業でしたが私達が結束した箇所がそのまま使われると聞きこの工事に関われた事に嬉しく思いました。そして、初めて見た杭打機の大きさや鉄筋の太さに驚きました。

最後の沖洲高架橋工事現場では海に近いため鉄筋がさびるのを防ぐエポキシ樹脂を塗装していました。現場の環境によっていろいろな対策があることを学びました。この現場では、女性の方も活躍して、お話を伺うと最近では女性用の更衣室やトイレもあり働きやすくなってきていると聞き、私が思っていた工事現場のイメージが少し変わりました。

今回の現場見学では、学校の授業とは違った学びがたくさんあり大変貴重な体験をさせていただきました。また、現場見学の機会があればぜひ参加させて頂きたいです。この度は誠に有難う御座いました。

25.竹治花乃

今回の現場見学では、普段の授業では学べないことを沢山学ぶことができ本当に良い経験になりました。

最初の現場である榎瀬川樋門では、南海トラフなどの大規模災害に備えた改築を行っていました。その改築によって浸水の被害がとても軽減されることを知り、近辺の住民にとって榎瀬川樋門があることで本当に安心できると思えました。また、そこでの作業は重いものを持つことが多く、そのとき腰にかかる負担を軽減する為のパワーアシストスーツについても説明して下さりました。実際にクラス議長が着用して体験しているのを見て、作業する人たちにとってとても良い装置だと思えました。

2か所目の現場である藍住町総合文化ホールでは、足場の多さにとても驚きました。足場を組むだけで2~3ヶ月かかると聞き、すごいと思えました。また、普段は見る事の出来ない現場であり、舞台の天井は本当に高かったです。このような現場に関心があり見学できて楽しかったです。完成したときは絶対見に行きたいです。

3か所目の現場である津田インター線のランプ橋の施工現場では、鉄筋の結束を体験させてもらいま

した。橋脚の工事をしているところに上って鉄筋の結束をしたのがとても楽しかったです。本当に良い経験になりました。

最後の現場である沖洲高架橋では、海に近いので塩害対策として全ての柱と梁をエポキシ樹脂塗装鉄筋や最小かぶり増厚で施工していることを知りました。また、鋼矢板を抜く作業がとても凄かったです。

どの現場もとてもやり甲斐のある仕事だと思いました。これからも頑張ってくださいたいです。わたしも将来、建設関係の仕事につけるように頑張ります。この度はこのような機会を設けていただき本当にありがとうございました。

26.三原海音

今回の現場見学に参加して1番初めに行った水門新設工事では、工事をするために仮設の道路を作っていることに驚きました。35億以上する水門でも建てないと南海トラフが来た時に約160億の被害額になるとわかりやすくグラフにしてくれていて高い工事費を使って建てる理由がよくわかりました。

パワーアシストスーツは装着した人が重いものを持ち上げているのを見ているだけでも軽くなったのがわかりました。今はまだ実用化はされてないみたいですが私たちが働くころには現場で当たり前に使われていようになるといいなと思いました。

2番目に行った藍住町総合文化ホールでは足場の多さに驚きました。まだ工事中の現場内に入らせてもらえたので普段見ることのない完成されていないホールが見えて面白かったです。まだできていない部分があったので完成されてどうなっているか見に行くのが楽しみです。

3番目に行った津田インター線の工事では結束線を実際に巻かしてもらいました。鉄筋に1つずつ人の手で固定していることを初めて知りました。わかりやすく説明して頂き上手く巻けて楽しかったけどこれを何千回もするのは大変だなと思いました。

最後に行った沖洲高架橋工事では杭が70~100メートルも地下に埋まって、また塩害対策として腐食するのを防ぐためエポキシ樹脂が鉄筋に塗られていると聞いて見えない所で安全性が考えられているのだなと知りました。鋼矢板がどんどん地面から抜かれているのを見るのも面白かったです。

私は高校を卒業後、設計士になろうと考えていました。しかし今回現場を見せていただき、働いている人が楽しそうで長い期間をかけてみんなで大きいものを作るのはとてもやりがいのある仕事で、現場監督になるのもいいなと思いました。今回は私たちのためにお忙しい中このような機会を設けていただきありがとうございました。この経験を今後の活動や将来の仕事選びに活かしていきたいと思います。

27.矢野桃菜

現場見学会に参加して、いろいろな体験をすることができました。

最初に行った川内町の現場では、普段見ることのできない視点から樋門を見ることができました。近くで見ることができて、改めて樋門の大きさを実感しました。

2か所目の藍住町の文化ホールでは、足場の多さにとても驚きました。今はすでに外壁があるのでそこまで寒くなかったけれど、吹きさらしの状態だとすごく大変なのだろうなと思いました。

3か所目の津田インター線の橋のところでは、実際に足場に上らせてもらって鉄筋の結束をさせてもらうというとても貴重な体験ができました。現場に入らせてもらったのも初めてだったので始終緊張していましたが、現場の方たちがとても優しく教えてくださったので落ち着いて作業に取り組むことができました。橋は、想像をはるかに超える大きさと圧倒されっぱなしでした。

最後に、東沖洲の現場に行きました。津田とはまた少し違った感じで見ることができました。わたしは沖洲に住んでいるのでとてもなじみのある現場でしたが、あれだけ近くで見るとやっぱり迫力があり

ました。海がとても近いので、潮風や緩い地盤の対策など、他のところとは違った施工の仕方をしているのがとても興味深かったです。

わたしは将来、建設業ではない職業に就こうと思っていましたが、この見学会を経てもう一度考え直してみようと思いました。現場の方たちはとてもかっこよかったです。わたしもあんな風にやりがいを感じられる仕事がしたいと思いました。貴重な体験をすることができて本当に良かったです。すべての工事の完成が楽しみです。このような機会を設けていただき、本当にありがとうございました。この経験をこれからの学校生活に生かしていきたいと思います。

28.吉住 夢

私は、4つの現場見学会に参加してたくさんを知り学ぶことができました。

1つ目に、榎瀬川水門新設工事を見学しました。以前から、工事をしているところの近くの道を通るときに気になっていたので見学できて良かったです。あんなに大きな水門を間近で見ながら説明をしていただき土木の仕事にも興味を持つことができましたし、人の力で作られていることに驚きました。

2つ目は、藍住町文化ホール複合公共施設建築施設の見学をしました。工事をしている中に入ると、たくさんの足場が組まれていてこの足場を何ヶ月もかけて組んでいることに驚きました。工事の現場は、自分が思っていた以上に迫力があって学べるのがたくさんあり貴重な体験ができました。

3つ目は、津田インター線徳・津田海岸橋梁下部工事の見学をしました。ここでは、鉄筋に結束線をする作業を体験しました。16m ぐらいの高さ作業をしたのですが、思っていたより怖くなくて楽しく作業できました。また、ハッカーを使って上手に鉄筋に結束線をつけることができました。

4つ目は、沖洲高架橋下部工事の見学をしました。3つ目に行った場所と将来合併するそうなので楽しみです。鉄筋が紫だったのは、塩害対策で海が近いので鉄筋が腐食するのを防ぐためにエポキシ樹脂塗装鉄筋や最小かぶり増厚で施工しているそうで、そこまで考えてしていて大変だけど完成したときは達成感があってやりがいがある仕事だと思いました。女性の人も活躍していてすごいと思いました。

この度は、このような機会を設けて頂きありがとうございました。私は、将来の夢がまだはっきり決まっていないので今日の現場見学会に参加していろいろ学んだことをこれからの進路選択や勉強に生かしていきたいと思います。